

第六章 土地補償金

第一 補償金の算定並決定

本地區に於ける宅地減歩率は一割五分九厘三〇八二なりしを以て、特別都市計畫法第八條に依り補償金の交付を要する爲、同法第五條の規定に依る補償金の配當割合を定むるに當り、幹線街路敷充當用として國に於て買收したる土地及補助線街路電氣事業用地並小公園敷充當用として市に於て買收したる土地に對しては該土地の指數相當額とし、其の他の土地に對しては補償總指數より前記指數を控除したる指數を各整理前の權利指數に按分するものとし、之を土地區劃整理委員會に諮問して決定せり。

次で前記配當割合に基き左表其の一に依り計算したる補償指數を、整理前各權利に配當して原案を作成の上、昭和五年二月十日補償審査會に提出し、同月十三日原案の通決定せられ、同月十七日其の旨通知を受けた。

而して要交付補償金總額は三十九萬九千八百六十四圓にして人員二千九百七十六人なり。

補償金計算調書

(其の一)

摘	要	員	數
整理前宅地總面積	積		一六一、七七七坪三四
整理後宅地總面積	積		一三六、〇〇四坪八八
潰地總面積	積		二五、七七二坪四六
整理前宅地總面積に對する潰地面積の割合	積		〇・二五九三〇八二
整理前宅地の一割に相當する面積	積		一六、一七七坪七三
補償總面積	積		九、五九四坪七三

第八地區 甲 整地

第八地區 甲 整地

補償金總額	補償總指數	整理前宅地總指數	同上平均坪當指數	整理前宅地總指數
三、七七〇、七二八圓五〇	二、五二三、八一九個	三、九三圓〇〇	一圓五〇	四二、三四六、二八七個
				二六二個
				五八〇

(其の二)

特別都市計畫法施行令 第二十九條該當中指數 相當額配當のもの	整理前指積	補償指數	補償金額	整理前指積	補償指數	補償金額	整理前指積
	八、三五五坪五一	二、二三一、五五一個	二、二三一、五五一個	三、三四八、八二六圓五〇	四〇、一一三、七三六個	二八一、二六八個	七個〇一一七六二
特別都市計畫法施行令 第二十九條該當中按分	整理前指積	補償指數	補償金額	整理前指積	補償指數	補償金額	整理前指積
	二、〇九五、四〇一個	一〇、五七三坪六二	一、二七二坪五五	二、〇九五、四〇一個	二、〇九五、四〇一個	二、〇九五、四〇一個	二、〇九五、四〇一個

所有權
借地權

差引要交付	率に依り配當のもの	補償金額	補償指數
三九九、八六四圓〇〇	一四、六九二個	二二、〇三八圓〇〇	二、〇九五、四〇一個

特別都市計畫法施行令	整理前指數	面積	補償金配當率	（整理前指數千個當）	總指數	補償金配當率	補償金配當率	差引要
第二十九條該當中按分	整理前指數	面積	補償金配當率	（整理前指數千個當）	總指數	補償金配當率	補償金配當率	差引要
	整理前指數	面積	補償金配當率	（整理前指數千個當）	總指數	補償金配當率	補償金配當率	差引要
	整理前指數	面積	補償金配當率	（整理前指數千個當）	總指數	補償金配當率	補償金配當率	差引要
	整理前指數	面積	補償金配當率	（整理前指數千個當）	總指數	補償金配當率	補償金配當率	差引要

率に依り配當のもの	補償指數	補償金額	差引要
率に依り配當のもの	補償指數	補償金額	差引要
率に依り配當のもの	補償指數	補償金額	差引要
率に依り配當のもの	補償指數	補償金額	差引要
率に依り配當のもの	補償指數	補償金額	差引要

備考 一 指數單價一圓五十錢は、昭和三年六月二十六日補償審査會に於て決定せるものなり。
 二 特別都市計畫法施行令第二十九條該當地の面積は、土地臺帳又は官廳の臺帳面積を掲せり。
 三 補償金配當率は、前表差引整理前總指數(四〇、一一三、七三六個)を以て差引補償總指數(二八一、二六八個)を除したるものなり。
 四 各筆の補償金(所有權及借地權に對する補償金)は、前號の配當に依り補償指數を求め之に指數單價を乘じて算出せるものなり。

第二 補償金國市負擔區分

本地區に於ける補償金國市負擔區分に關する計算は左記調査表の如く、國に於て十三萬六千二百十二圓(人員二百五十八人)市に於て二十六萬三千六百五十二圓(人員二千七百十八人)を負擔するものなり。

國市負擔區分調査表 (其の一)

面積	補償		面積	負擔		面積	負擔		備考		
	金額	指數		金額	指數		整理前面積	平均坪	國又は公	有地指數	
九、五九四・七三 ^坪	三、七〇〇、七六・五〇 ^円	二、五三三、八二九 ^個	八、三五五・三五 ^坪	三、二八二、四七・五〇 ^円	二、一八八、三五五 ^個	一、四二二・三六 ^坪	四八八、二五六・〇〇 ^円	三、五、五〇四 ^個	一、六一、七七・三四 ^坪	二、六二 ^個	四、三七、九三二 ^個

第八地區 甲 整地

(其の二)

區分	負擔	種別	面積		指數		金額		施行令第二十九條該當地	差引交付	
			積	補	金額	指數	金額	指數		金額	指數
國負擔	計	幹線	八、三五二・三五	八、三五二・三五	三、二八二、四七二・五〇	二、一八八、三五〇	一九、一八三・五〇	三、二七〇、〇七二・〇〇	三、一四六、一六〇・五〇	三、一四六、一六〇・五〇	三、一四六、一六〇・五〇
市負擔	小公園	補助線の 内電氣事 業用地	五五一・六九	六九〇・六九	二二六、八二四・五〇	一四四、五四三	一、二六七・五〇	三、一三〇・〇〇	三、五七七・五〇	一八三、一三七・〇〇	一八三、一三七・〇〇
計		計	八、三五二・三五	八、三五二・三五	三、二八二、四七二・五〇	二、一八八、三五〇	一九、一八三・五〇	三、二七〇、〇七二・〇〇	三、一四六、一六〇・五〇	三、一四六、一六〇・五〇	三、一四六、一六〇・五〇
計		計	八、三五二・三五	八、三五二・三五	三、二八二、四七二・五〇	二、一八八、三五〇	一九、一八三・五〇	三、二七〇、〇七二・〇〇	三、一四六、一六〇・五〇	三、一四六、一六〇・五〇	三、一四六、一六〇・五〇

計	一、二四二・三六	四八八、二五六・〇〇	三三三、五五〇	二、八四四・五〇	二、九〇三	三三三、七四九・五〇	三三三、七四九・五〇	二、八四四・五〇	二、九〇三	三三三、七四九・五〇	三三三、七四九・五〇
---	----------	------------	---------	----------	-------	------------	------------	----------	-------	------------	------------

市負擔	小公園	六〇六九	二七、四一・五〇	一、五六・〇〇	一八九、四三九・五〇	一九一、〇六・五〇	八〇、四一五・〇〇
-----	-----	------	----------	---------	------------	-----------	-----------

第二 補償金の申告

補償金の交付を受けむとする者は、昭和五年二月十二日迄に之に關する申告書を提出すべき旨、申告書用紙を添へ権利者二千九百七十六人に對し注意書を發したるに、右期限内に出張所に提出したるもの二千八百三十三人なりしが、未提出者百四十三人に對しては本局に於て之を提出せしめたり。

第三 各権利者に直接交付すべき補償金

要交付補償金總額は三十九萬九千八百六十四圓なりしが、内十六萬九千七百七十六圓を徵收清算金に充當したる結果、各権利者に直接交付すべき補償金は二十三萬六千八百八十八圓(人員千八百二十一人)にして、之が國市負擔區分に依る内譯左表の如し。

總計	計		充當額		直接交付額	
	金額	人員	金額	人員	金額	人員
九、五四・七三	四八八、三五六・〇〇	三三、三三、五〇四	二、八四・五〇	三三、七四九・五〇	三三、四、六四・〇〇	二六三、六三二・〇〇
	二、五三、八一九	一四、六九二	三、三三、五二	二、二四七、二四三	二六、五七六	
	三、七〇、七八・五〇	三、〇三、八〇〇	三、三三、八六・五〇	三、三七〇、八六四・五〇	三九、八六四・〇〇	

區分	補償金決定額		充當額		直接交付額	
	金額	人員	金額	人員	金額	人員
國負擔	一六、二二・〇〇	二五八	五四、四〇・五〇	一九	八一、七五・五〇	二四
市負擔	一六三、六五二・〇〇	二、七八	二四、七五・五〇	一、七三	一四八、九三・五〇	一、六〇七
計	一七九、八七四・〇〇	二、九七六	一九、一七六・〇〇	一、二〇四	一六〇、七〇八・〇〇	一、八二二

第四 補償金の交付

本地區に於ける市負擔補償金總額二十六萬三千六百五十二圓の内、徴收清算金に充當したる金額十一萬四千七百十五圓五十錢は、市會計規程に基き振替手續に依り昭和五年五月八日支出し、直接交付額十四萬八千九百三十六圓五十錢は、神田區役所に於て同年四月二十四日之が支拂を開始し、同六年三月末日迄に交付せし金額十四萬八千八百九圓二錢にして交付済額合計二十六萬三千五百二十四圓五十二錢なり。

國負擔補償金總額十三萬六千二百十二圓の内、徴收清算金に充當したる金額五萬四千四百六十圓五十錢は、同年三月十八日神田區役所に納付し、直接交付額八萬千七百五十一圓五十錢は同年三月之が支拂を開始し、同六年三月迄に交付したる金額八萬千九百九十圓なり。

第七章 登記及地價配賦

第一節 登記

第一 代位登記

土地に關し代位登記を爲したる件數は土地表示更正及變更四十二件、土地名義人表示更正及變更三十一件、土地分合筆二百三十四件、家督相續十三件なり。

第二 區劃整理登記

土地囑託筆數は整理前千四百四十五筆、整理後千九十八筆にして、建物囑託件數は要登記のもの千八百

五十九件、現存を認め難きもの百八十三件なり、囑託書を東京區裁判所二長町出張所に提出したるは昭和五年六月六日にして、登記の完了は昭和五年八月一日なり、而して登記の停止期間は換地處分告示の日即ち昭和五年二月六日より約五箇月に亘れり。

土地に關し代位登記を爲したる件數は土地表示更正及變更四十二件、土地名義人表示更正及變更三十一件、土地分合筆二百三十四件、家督相續十三件なり。

第二 區劃整理登記

土地囑託筆數は整理前千四百四十五筆、整理後千九十八筆にして、建物囑託件數は要登記のもの千八百

五十九件、現存を認め難きもの百八十三件なり、囑託書を東京區裁判所二長町出張所に提出したるは昭和五年六月六日にして、登記の完了は昭和五年八月一日なり、而して登記の停止期間は換地處分告示の日即ち昭和五年二月六日より約五箇月に亘れり。

第二節 地價配賦

第一 地價配賦前の處理

本地區の土地區劃整理施行申告、工事著手届及工事完了届を神田橋稅務署長に提出したる年月日左の如し。

- | | |
|--------------|-----------|
| 一 土地區劃整理施行申告 | 昭和三年九月十八日 |
| 一 工事著手届 | 同 日 |
| 一 工事完了届 | 同 五年二月六日 |

第二 地價配賦

地價配賦案は昭和五年七月十八日之が作成を了し、同日神田橋稅務署長に提出し同年九月十九日地價配賦許可の指令を受けたり。

本地區整理前有租地の地價總額は三百萬千六百七十三圓にして、整理に依り減少したる有租地面積に對する控除地價額は四十二萬七千三百七十一圓五十七錢なり、之を前述の地價總額三百萬千六百七十三圓より控除したる二百五十七萬四千三百七十一圓五十七錢は、即ち整理後有租地に對し配賦せらるべき地價總額とす、而して整理後各筆評定指數千個當配賦地價額は六十八圓九十錢七九八二九なり、地價配賦算定に關する數字を示せば左の如し。

第八地區 甲 整地

一 整理前後有租地面積

整理前面積	一四、一四三 ^坪 ・九七	整理後面積	一三、六〇〇 ^坪 ・九四	差引減步面積	一〇、五三三 ^坪 ・〇三
-------	-------------------------	-------	-------------------------	--------	-------------------------

二 整理前有租地坪當平均地價

整理前有租地面積	一四、一四三 ^坪 ・九七	同上總地價	三、〇〇一、六七三 ^円 ・〇〇	坪當平均地價	二〇、八四
----------	-------------------------	-------	----------------------------	--------	-------

三 控除せらるべき地價

有租地差引減步面積	一〇、五三三 ^坪 ・〇三	坪當平均地價	一〇、八四	控除地價	四七、三七一 ^円 ・五七
-----------	-------------------------	--------	-------	------	-------------------------

四 整理後評定指數千個當配賦地價額

整理後有租地總指數	三七、三六、五七 ^圓	配賦地價額	二、五七四、三〇一 ^円 ・四三	指數千個當配賦地價額	六八、九七九 ^円 ・六元
-----------	-----------------------	-------	----------------------------	------------	-------------------------

次に整理前後の土地を有租地、免租地及公共用地の區分に從ひ地目別に掲記すれば左の如し。

整理前後土地面積及筆數調

從前の土地	整理後の土地	面積差引	筆數差引
-------	--------	------	------

整理後有租地總指數	配賦地價額	指數千個當配賦地價額
三〇,三六八・五七 ^四	二,五七四,三〇一・四三 ^四	六八・九〇七九八元 ^四

次に整理前後の土地を有租地、免租地及公共用地の區分に從ひ地目別に掲記すれば左の如し。

整理前後土地面積及筆數調

區分	地目	從前の土地		整理後の土地		面積差引		筆數差引	
		面積	筆數	實測面積	筆數	増	減	増	減
有租地	宅地	一三九,八七二・四 ^坪 内道路四五〇・八三 外道路九・〇一	九〇八	二三,六〇〇・九四 ^坪	一,〇四八	一 ^坪	一六,二〇〇・五 ^坪	一四〇	一
		二,四五二・七三	三〇	一	一	二,四五二・七三	一	三〇	一
		三,三三二・六三	三	三,一八一・二四	三	一四・三元	一	一	三
民有免租地	計 校敷地 私立學路設	五,七五三・三六	三三	三,一八一・二四	三	二,五四二・一二	一	三〇	一
		一,五一〇・〇〇	二	一,五九三・〇五	二	八二・五五	一	一	一
		五四四・〇〇	三	一	一	五四四・〇〇	一	三	一
區有免租地	公用地 公園 道 役所 敷地	六,二七五・〇三	九	一	一	六,二七五・〇三	一	九	一
		四九二・六二	一	四九二・一七	一	八・四五	一	一	一
		五,三八・六	一〇	四,七三・九七	一〇	五八六・二九	一	一	一
市有免租地	共同物 揚子場 都市計畫 事業用地 軌道 用地	二九七・四〇	二	四七七・〇六	三	一七九・六六	一	一	一
		一〇〇・〇〇	一	一	一	一〇〇・〇〇	一	一	一
		一六九・〇〇	二	二三二・二三	四	六二・二三	一	一	一

第八地區 甲 整地

合 計	公共用地				國有免租地						府有免租地	計							
	公園地	溝渠	運河	道路	官有地	用鐵敷郵用遞社 地地道局地信省地	官用地	警視廳 用地	官用地	社地	遞信省地		郵局	敷地	鐵道				
內道路 三三、二四、六 外道路 二二、三三	五、七九、八〇	一、三九〇、七	六、三三、二六	四八、一九、二七	外道路 一〇、七九、八 外道路 一三、三四	一、一六五、〇四 七、八三、四三	九〇、〇〇	一、四〇五、二六	一七、一〇	一五九、〇五	四四、九	一三、一〇、三三	一一〇	五、九二、四二	一八	二四、八	七、五三、七	三	二九
一、三六	六九〇、六九	六九〇、六九	六、三三、二六	八八、〇六、五二	二、二五、八六	五七、四七	八〇、四一	一、三七三、二二	二二、一〇	一五、六六	四三、二一	二、二五、八六	二	四三、二一	二	二	二	二	二
一、〇八一	四〇、五九、四	六九〇、六九	六、三三、二六	八八、〇六、五二	八	一	一	二	二	二	二	六、二〇	六	六、二〇	二	二	二	二	二
三六、三九、二	一、三九〇、七	一、三九〇、七	六、三三、二六	八八、〇六、五二	八、五九、四六	七、八六、七七	六三、七五	九、九	三、一四	三、三	一〇、八	三六、三九、二	二	一〇、八	二	二	二	二	二
一四三																			
二九					一七	一三	元	四											

乙 建物其の他の工作物移轉

計	計
至、七九・八〇	至、八九・七
三七、二四・六	四〇、五九・四
内道路四〇・八三	一、三六〇・七
外道路三三・三	一、〇八一
一、三三六	四〇、八四九・七
三三、七七・九	三六、四九・二
一、〇八一	一四三
三三、七七・九	三九

乙 建物其の他の工作物移轉

第一章 整理前の建物

第一節 建物状況

本地區整理前の宅地總面積は十六萬千七百七十七坪三合四勺にして、之に所在する建物の總棟數は六千二百二十棟此の延坪數十二萬九千九百二十三坪九合五勺なり、而して建物一棟當り宅地面積は二十六坪四合三勺、同建物延坪數は二十一坪二合三勺なり。

前記總棟數の内移轉を要するもの六千六十二棟にして、爾餘の五十八棟は換地の關係に依り其の儘据置き得る不要移轉建物なり、之を構造別に示せば左の如し。

種別	建物總數		内		譯	
	棟數	延坪數	要移轉建物 棟數	延坪數	不要移轉建物 棟數	延坪數
木造建物	六、〇〇九	一三三、〇三六・五 ^坪	三	一、二九〇・〇〇	三	一、二九〇・〇〇
石造平家建	四	四六・九三	一	一	一	一
同 二階建	九	一七〇・六九	一	一四・〇〇	一	一四・〇〇
煉瓦造平家建	三	六〇七・三三	三	四八二・〇〇	三	一、二五・三三
同 二階建	一	四〇〇・五六	一	二九六・五	一	一〇四・〇〇
同 三階建	二	六〇・四五	一	二七・九	一	三三・四

第八地區 乙 建物其の他の工作物移轉

第八地區 乙 建物其の他の工作物移轉

木及煉瓦造二階建	一	二八五・二四	一	二八五・二四	—	—
鐵骨造平家建	六	二九四・三元	五	一三三・六四	—	七・七五
同 二階建	二	一〇六・九	二	一〇六・九	—	—
鐵骨木造平家建	三	四〇三・三	三	四〇三・三	—	—
同 二階建	一	三五・九四	一	三五・九四	—	—
鐵筋コンクリート造平家建	四	三三・九四	三	一三・九四	—	三〇〇・〇〇
同 二階建	九	四五〇・二八	五	二〇五・二八	四	二四五・〇〇
同 三階建	六	一、八七・二元	四	一、〇三・元	二	八三・九〇
同 四階建	五	一、四七・五七	一	一四七・二	四	一、三三・四五
同 六階建	一	三三・二三	—	—	一	三三・二三
土藏造二階建	二	一八〇〇	二	一八〇〇	—	—
同 三階建	二	三六・元	二	三六・元	—	—
計	六、二二〇	二九、九三・九五	六、〇三二	一三五、三二・八四	五	四、六九・二二
建物總數に對する百分比	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	九九・〇五	九六・元	〇・五五	三・六

五九〇

要移轉建物の用途を大別すれば、住宅三千三百六十棟の五割五分を最高とし、商店千八百八十三棟の三割一分之に次ぎ以下倉庫、小工場、飲食店等の順位なり、之を表示すれば左の如し。

第八地區の工作物移轉

種別	棟數	要移轉棟數に對する百分比	轉延坪數	建物	一棟平均坪數
----	----	--------------	------	----	--------

要移轉建物の用途を大別すれば、住宅三千三百六十棟の五割五分を最高とし、商店千八百八十三棟の三割一分之に次ぎ以下倉庫、小工場、飲食店等の順位なり、之を表示すれば左の如し。

種別	要		移	轉		物
	棟數	延坪數		延坪數	一棟平均坪數	
官署	四	四四・三五 ^坪	〇・〇七		一〇六・〇九 ^坪	
官舎	二	七九・六	〇・〇三		三九・八四	
學校	一六	三、〇七・八七	〇・二六		一九〇・四九	
幼稚園	一	四四・〇〇	〇・〇二		四四・〇〇	
教會	三	一九〇・七	〇・〇五		六三・四六	
祠宇	一三	一九・七四	〇・二二		二二・九	
病院	六	五八・四	〇・一〇		九二・四一	
醫院	四	一、五九・六	〇・七三		三九・九	
銀行	一五	五五・三	〇・二五		三七・六	
事務所	五	一、六三・七	〇・八四		三二・八	
住宅	三、三六〇	五、七四・九	五・四三		一六・八九	
旅館	三	二、七二・四	〇・五		八六・六一	
下宿舎	七	三三六・三〇	〇・二二		四八・〇四	
寄宿舎	八	七四八・一八	〇・二三		九三・五二	
商店	一、八八三	四〇、三九・五〇	三・〇六		二二・四一	
料理店	一七	一、一〇八・二三	〇・二八		七二・〇七	

第八地區 乙 建物其他の工作物移轉

五九一

第八地區 乙 建物其の他の工作物移轉

飲	觀	席	娛	質	浴	理	運	工	小	倉	自	變	其
食	物	樂	樂	場	場	店	業	場	場	庫	庫	車	計
店	場	亭	場	屋	場	容	店	場	場	庫	庫	々	他
一三	一	二	一九	一	一六	一五	三〇	三七	二八	一九	一五	一	一三
100.00													
一・八六	〇・〇二	〇・〇三	〇・三三	〇・〇二	〇・二六	〇・四一	〇・九八	〇・六一	二・二二	三・三二	〇・五	〇・〇二	〇・三六
三、〇七・四九	一四・八一	一五二・〇〇	六八・六三	三三・八	八五八・三七	五二五・七四	六四七・四八	一、六五・九五	三、一〇・九	三、八四・九六	三三〇・二六	五五・七五	一六三・二七
二六・七九	一四・八一	六・〇〇	三六・二四	三三・八	五・四〇	二〇・三三	二二・五	四・七六	二四・二五	二〇・一三	三三・〇一	五五・七五	七二・〇
二〇・六													
三、三三・八四													

五九二

第二節 地區告示後の建築

大正十三年三月二十七日東京都市計畫土地區劃整理施行地區の告示後に於て、假設建築物として新築、改築、増築等の爲、東京府知事に許可申請を爲したるもの建物千八百八十三棟、工作物四件、内許可せ

られたるもの建物千六百棟、工作物二件、許可せられざりしもの建物二百八十三棟、工作物二件なり、而して前記の如く不許可の指令を受けたるにも拘らず新築、改築、増築等を爲し、事業施行の必要上移轉を要したるもの建物百三十一棟なり。

第二節 地區告示後の建築

大正十三年三月二十七日東京都市計畫土地區劃整理施行地區の告示後に於て、假設建築物として新築、改築、増築等の爲、東京府知事に許可申請を爲したるもの建物千八百八十三棟、工作物四件、内許可せ

られたるもの建物千六百棟、工作物二件、許可せられざりしもの建物二百八十三棟、工作物二件なり、而して前記の如く不許可の指令を受けたるにも拘らず新築、改築、増築等を爲し、事業施行の必要上移轉を要したるもの建物百三十一棟なり。

以上の建物其の他の工作物を新築、改築、増築等に區分し、尙不許可處分を爲したるものに對しては其の原因を類別し各之を表示すべし。

假設建築物築造申請に對する種別調

路 線 支 障	區 分	不許可處分の原因調	新築		改築		増築		大改修		計
			棟數	工作物件數	棟數	工作物件數	棟數	工作物件數	棟數	工作物件數	
107	建 物 棟 數	可 許	800	2	255	1	76	1	2	1	1,883
			1,600	4	1,600	2	1,600	4	1,600	2	1,600
107	工 作 物 件 數	不 許	100	4	4	1	15	4	4	4	283
			100	4	100	4	100	4	100	4	100

第八地區 乙 建物其の他の工作物移轉

換地	公園	坪數	路線支障	構造制限	計
支障	支障	超過	超過	超過	
三	四	〇	九	一	二八
一	一	一	一	一	一

第二章 移轉計畫

本地區は之を百五十三箇の移轉群に分ち、大正十五年九月より建物及工作物の現状調査に著手し、調査済の移轉群より逐次移轉工法並工程を定め、昭和三年七月移轉計畫を終了せり。而して要移轉建物六千六十二棟に對する移轉工法を見るに、曳方一部除却に依るもの三千五十四棟にして五割を占め、之に次ぐは移築一部除却の千八百八十二棟にして三割一分に相當し、他は曳方、移築、据置一部除却、曳方一部移築一部除却、特別移築の順位なり、之を構造別に示せば左の如し。

種別	工法別棟數						計
	曳方	曳方一部除却	曳方一部移築	移築	移築一部除却	据置一部除却	
木造建物	五三六	三、〇五〇	一〇	四〇四	一、八四七	二五	五、九七二

煉瓦造	同階	石造
二	二	一
一	一	一
一	一	一
八	三	三
一七	二	一
五	一	一
一	一	一
三	八	四

第八地區 乙 建物其の他の工作物移轉

要移轉總棟數に對する百分比	計	同	土藏	同	同	同	同	鐵筋コンクリート造	同	鐵骨木造	同	鐵骨造	木及煉瓦造	同	同	煉瓦造	同	石造
		三階建	二階建	四階建	三階建	二階建	二階建	二階建	二階建	二階建	二階建	平家建	二階建	三階建	二階建	平家建	二階建	平家建
九・〇四	五四八	一	二	一	一	一	一	一	一	一	一	二	一	一	三	二	二	一
五〇・六	三、〇五四				一							三						
〇・一八	二														一			
七・一一	四三二	一	一	二	一	二	二	一	一						六	八	三	三
三二・〇四	一、八八三				二	三			一	二		一			六	七	二	一
二・二三	一三五				一			一	一						一	五	一	
〇・〇一	一						一											
100・〇〇	六、〇三二	二	二	一	四	五	三	一	三	二	五	一	一	一	六	三	八	四

五九五

種別	曳方	曳方一部除却	曳方一部移築	移築	移築一部除却	据置一部除却	特別移築	計
木造建物	五三六	三、〇五〇	一〇	四〇四	一、八四七	二五	一	五、九七二

第八地區 乙 建物其の他の工作物移轉

五九六

建物の移轉實施期間を昭和二年一月より同四年七月迄の二年七月とし、同二年に於て二千百二十三棟、同三年に於て三千五百四棟、同四年に於ては七月迄に四百三十五棟の工事を完了することに豫定したり之を月別に示せば左の如し。

年	月												計	累計
	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月		
昭和二年	三	一九	三三	一〇	四三	八三	一九九	三九〇	六四三	四七七	一四三	四三	二、一三三	二、一三三
同三年	二二	五九	九二	六四	二六九	一五三	三七	二七四	七	二七	一四	三	三、五〇四	五、六三七
同四年	一五	二九	四二	二	五	一	三	一	一	一	一	一	四三五	六、〇六三

前記計畫に依るときは要移轉建物六千六十二棟此の延坪數十二萬五千二百三十一坪八合四勺は、整理後に於て其の棟數に増減なきも、坪數に於ては二割の縮少を來し、十萬二百三十七坪三合となる、之を建物の構造別に對照すれば左の如し。

種別	整理前建物		整理後建物		差引減	
	棟數	延坪數	棟數	延坪數	棟數	延坪數
木造 建造 平家 建造	五、九七二	二二、七四六・五 ^坪	五、九七二	九七、〇四・七 ^坪	一	二四、六九・一四 ^坪
石造 建造 平家 建造	四	四・九三	四	二六・八三	一	二〇・一〇
同 煉瓦 建造 平家 建造	八	一四・六九	八	一六・三五	一	一〇・四
同 煉瓦 建造 二階 建造	三	四八・〇〇	三	四七・四	一	六四・三
同 煉瓦 建造 二階 建造	一六	二九・六	一六	二七・四	一	二・一〇

種別	棟數	延坪數	棟數	延坪數	差引減
同 煉瓦 建造 三階 建造	一	二七・九	一	二七・九	一
木及煉瓦 建造 二階 建造	一	二八・二四	一	二八・二四	一
鐵骨 建造 平家 建造	五	二二・六四	五	二〇・四	一
					三・二六

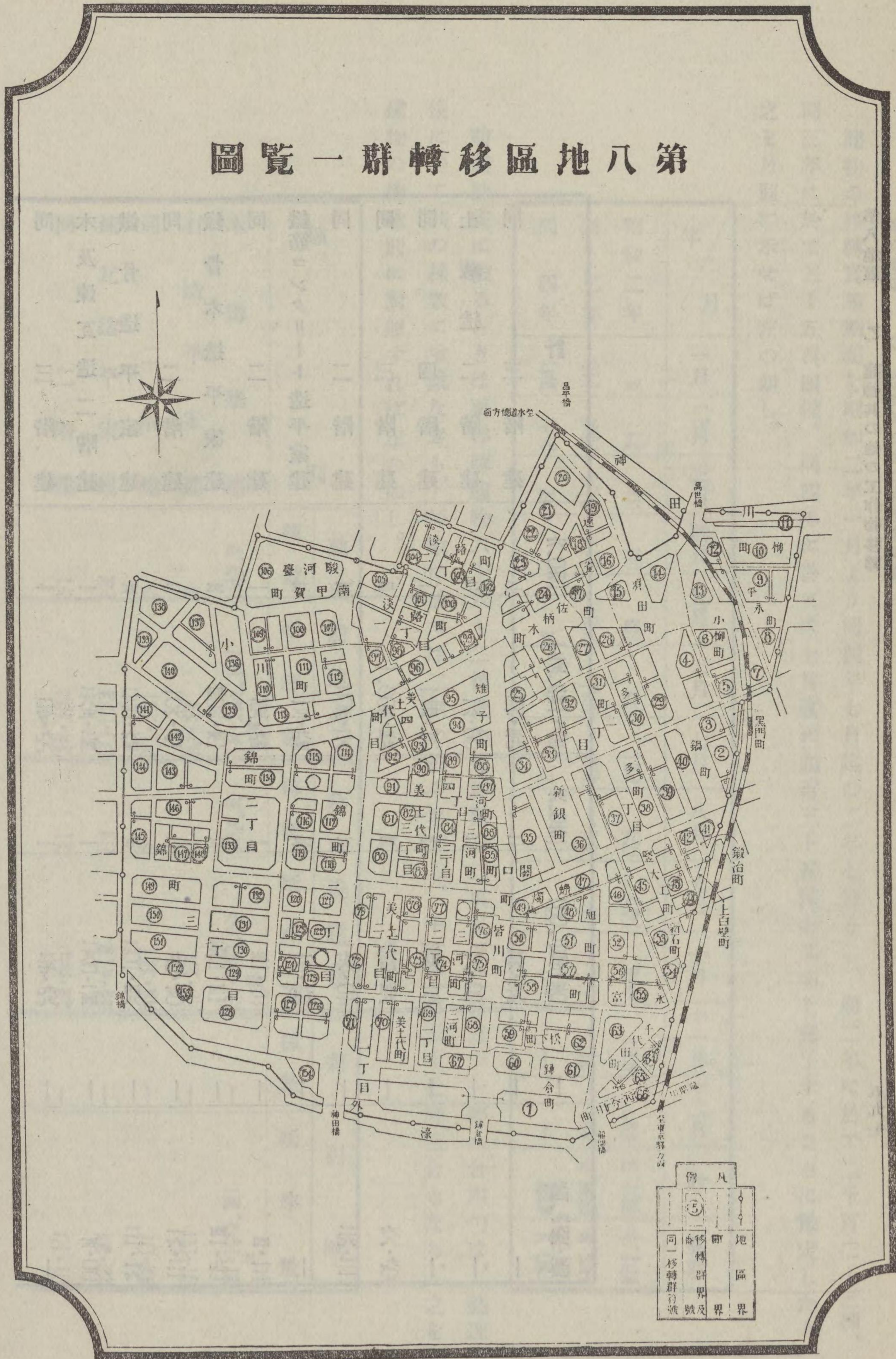
第八地區 乙 建物其他の工作物移轉

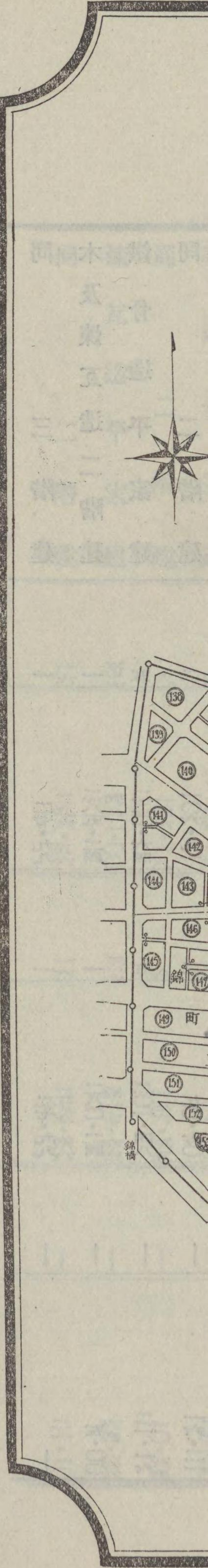
同	土藏	同	同	同	同	鐵筋コンクリート造	同	鐵骨木造	同	鐵骨造	木及煉瓦造	同
三階建	二階建	四階建	三階建	二階建	二階建	平家建	二階建	平家建	二階建	平家建	二階建	三階建
六、〇六三	二	二	一	四	五	三	一	三	二	五	一	一
二五、三二八・四	三六・元	一八・〇〇	一四・三二	一、〇〇三・元	二五・一八	一三・九四	三五・九四	四〇三・三一	一〇六・九一	二二・六四	二八五・二四	二七・九
六、〇六三	二	二	一	四	五	三	一	三	二	五	一	一
一〇〇、三七・三〇	三六・元	一八・〇〇	一四・三二	九三・四九	一七・〇七	一三・九四	三三・八	三六一・四一	九〇・七〇	二〇・四八	二八〇・二四	二七・九
二四、九四・四				六八・九〇	二九・三		四・三	四・九〇	一六・三	二・二六	五・〇〇	

五九七

同	煉瓦造	同	石造
二階建	平家建	二階建	平家建
二六	三	八	四
二九六・五	四八・〇〇	一四六・九	四九・三
二六	三	八	四
二七五・四	四七・六四	一三六・五	一六・三
二・一〇	六・三六	一〇・三	一〇・一〇

第八地區轉移群一覽圖





第三章 移轉手續

第一節 移轉命令

大正十五年十月二十一日第一次移轉命令として、鎌倉河岸第一移轉群建物四十五棟に對し、移轉命令十五通、同通知二十五通を發し、爾來引續き發令に努め、昭和三年七月三十日錦町一丁目の二部第一百十九移轉群の殘部三棟に對する發令を最後とし、要移轉建物六千六百十二棟の内、協議移轉に依る百四棟を除きたる五千九百五十八棟及工作物に對し、移轉命令四千二百四通、同通知五千四百六十一通を發し、茲に全部の發令を終へたり、之を月別に示せば左の如し。

年	大正十五年 昭和元年					計	月	命令棟數	命令通數	命令通知通數
	十月	十一月	十二月	一月	二月					
十月	六	一	一	一	一	六		三		三
十一月	一	一	一	一	一	五		三		三
十二月	一	一	一	一	一	五		三		三
一月	一	一	一	一	一	五	二六	二六	二四	六
二月	一	一	一	一	一	五	二六	二六	二四	六
三月	一	一	一	一	一	五	二六	二六	二四	六
四月	一	一	一	一	一	五	二六	二六	二四	六
						六〇				

第八地區 乙 建物其の他の工作物移轉

第八地區 乙 建物其の他の工作物移轉

合	昭和三年							昭和二年					計				
	一	二	三	四	五	六	七	五	六	七	八	九		十	十一	十二	
計	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月		
五、九六八	一、二二八	三	一	二	二	七五	二九四	一五七	四、六四七	三	一九四	五四七	二六	七五三	五〇二	七三	四〇
四、二四四	八三〇	二	一	八	五二	二〇一	九七	三、三四三	三	二四	三八二	一四	五二五	三六一	四九三	三〇二	
五、四六一	一、〇六九	五	一	一〇	六五	二八	一五〇	四、四七	七	一七	五九	二二	七四五	四七四	五八九	四〇九	

備考 本表中には移轉命令發令後取消を爲したるものを含まず。

六〇〇

第二節 協議並直轄移轉

合	七	計	月
	一、三二八		三
	五、九五六		
	五、一〇三〇		二
	五、四四一		五

備考 本表中には移轉命令發令後取消を爲したるものを含まず。

第二節 協議並直轄移轉

第一 協議移轉

本地區に於て協議移轉を爲したるもの建物百四棟、工作物百六十七件あり、内建物十二棟、工作物八件は官公署の所有に係り、事業實施の便宜上協議移轉を爲したるもの、其の他の建物九十二棟、工作物百五十九件は民有にして、内建物一棟は東京市小川尋常小學校々舎新築の爲急速現地撤去を要したるもの、其の他の建物九十一棟及工作物百五十九件は移轉促進の爲特に急施を要したるものなり。

第二 直轄移轉

本地區に於て直轄移轉を爲したるもの工作物六件、動産一件あり。内工作物一件は本市電氣局の所管に係り其の希望に依りたるもの、他の工作物五件及動産一件は民有にして、内工作物三件は土地區劃整理施行上急速現地撤去を要したるもの、同二件は所有者不明の爲移轉命令の發令不能なりしもの、又動産一件は他人の換地内に木材其の他を堆積し、撤去方を交渉したるも應ぜざりしに依るものなり。

第四章 損害補償

第一節 補償金の決定

移轉命令の發令に次で移轉損害補償金の算定に著手せり、即ち大正十五年十一月建物及工作物の新築費並動産の種類、數量及營業休止に因る損害等の現地調査に著手、其の調査に基き移轉損害補償金の算

第八地區 乙 建物其の他の工作物移轉

定を爲し、同年十二月以降逐次補償審査會の審議決定を経たり、而して前記現地調査は昭和三年五月迄に終了し、又補償審査會に於ける補償金の決定も回を重ねること六十三回(變更案の決定を含む)にして、同年七月一先終了したるが、其の後に至り尙既決補償金の變更を要するものあり、之が審議決定を爲すこと十四回に及び、同四年十月全部の決定を了せり、尙補償審査會の決定を要せざるものに付ては、調査算定すると共に關係者と協定する等夫々處理を了したり。

補償審査會に於て決定したる補償金及其の他の移轉料總額は、左表の如く五百九十七萬二千九百十二圓七十九錢にして、内國負擔額二百四十七萬三千五百四圓五十一錢、市負擔額三百四十九萬九千四百八圓二十八錢なり。

棟數	延坪數	補償金	内訳		
			區分	金額	
六、〇六二	一五、三二、八四 ^坪	五、九七、九二、七九 ^円	建物移轉料	三、〇〇九、三〇一、八一 ^円	二七、三
			工作物移轉料	六七、四二、五	四、九三
			造作移轉料	一六、九七、六	〇、九三
			動産移轉料	五六、三三、五	四、一〇
			休業補償	七六、四九、〇三	六、二五
	雜費	五三、四五、二四	四、一七		
	計	五、九三、九三、七九		四七、六	

因に前表建物及工作物移轉料算定の基準となりたる新築費を示せば左の如し。

種別	棟數	延坪數	延坪棟當	新築費	坪當單價

休業補償	六二、四九〇・三	六・二五
雜費	五三、四五三・二四	四・一七
計	五、九七二、九二二・七九	四七・六九

因に前表建物及工作物移轉料算定の基準となりたる新築費を示せば左の如し。

種別	棟數	延坪數	延一棟坪數	新築費	坪當單價
木造建物	五、九七二	二二、七六・五 ^坪	二〇・三六 ^坪	八、〇四八、四二・四 ^円	六六・二 ^円
石造平家建	四	四六・九三	一一・七三	六、三八・三〇	一三四・八五
同二階建	八	一四六・六九	一八・三三	二〇、九五・〇一	一四二・八五
煉瓦造平家建	三	四八二・〇〇	一五・〇六	九、五四二・二九	二〇六・五三
同二階建	一六	二九六・五五	一八・五三	五八、二七六・五九	一九六・五一
同三階建	一	二七・九	二七・九	七、八五・一九	二八一・〇〇
木及煉瓦造二階建	一	一八五・二四	一八五・二四	七、七八〇・六六	二五五・一六
鐵骨造平家建	五	三三・六四	四四・五二	二、〇一・元	四九・八六
同二階建	二	一〇六・九	五三・四五	六、九七・二四	六四・六一
鐵骨木造平家建	三	四〇三・三二	一三四・四三	三、〇七・八〇	七四・五六
同二階建	一	三五・九四	三五・九四	一、九八・三〇	五五・三五
鐵筋コンクリート造平家建	三	一三・九四	四・六四	三、〇八・一八	一三三・九七
同二階建	五	一〇五・二八	四一・〇五	三四、八六・五	一六九・九五
同三階建	四	一、〇三・三九	二五〇・八四	二五〇、八七・六二	二四九・九七
同四階建	一	一五四・二	一五四・二	五、四八三・二〇	三六〇・〇〇
土藏造二階建	二	一八・〇〇	九・〇〇	三、九七六・〇〇	二三〇・八九

第八地區 乙 建物其の他の工作物移轉

六〇三

第八地區 乙 建物其の他の工作物移轉

六〇四

同 三 階 建	工 作 物	計
二	一	二
三・元	一	二〇・元
一、一〇一・二	一	九、九二、三八・三〇
三〇・五	一	七九・三

備考 工作物の坪當單價は其の新築費を建物總延坪數にて除したるものなり。

前掲補償金及移轉料の總額を更に種別毎に分類して示せば左の如し。

一 補償審査會に於て決定せる補償金

建物	延坪數	補償金	區 内	分 金	額 坪	譯 當
五、八七	二七、六三・九三 ^坪	五、六五、七九・九〇 ^円	建物移轉料	三、二七、一九三・元 ^円	二七・五	
			工作物移轉料	五五七、七三〇・四一	四・七四	
			造作移轉料	一四、七五三・七一	〇・九八	
			動産移轉料	五三、八四〇・七六	四・三七	
			休業補償	七五、〇七二・二五	六・一六	
			雜費	四九七、一六九・三八	四・二三	
			計	五、六五、七五九・九〇	四七・八三	

備考 補償金決定後火災に因り燒失したる建物九棟此の既決補償金四千四百十九圓八十二錢を五百八圓六十七錢に変更したり。

二 協議移轉に依る移轉料

建物	延坪數	移轉料	區 内	分 金	額 坪	譯 當

備考 補償金決定後火災に因り焼失したる建物九棟此の既決補償金四千四百十九圓八十二錢を
五百八圓六十七錢に変更したり。

計	四九七・一六・六	四・三
計	五、六五、七五九・九〇	四七・八三

二 協議移轉に依る移轉料

棟建 敷物	延 坪數	移 轉 料	區 分 金		額 坪	當
			内	外		
104	二、四二二・七六 ^坪	二四六、九四七 ^円	計	二四六、九四七 ^円	二四六、九四七 ^円	一〇三・三六
			建物移轉料	一〇三、四八八 ^円	一〇三、四八八 ^円	四二・八八
			工作物移轉料	五、八七〇・〇三	五、八七〇・〇三	二・五〇
			造作移轉料	二、二三三・九〇	二、二三三・九〇	〇・九二
			動產移轉料	一一、一九九・五一	一一、一九九・五一	四・六四
			休業補償	五、八八八・二三	五、八八八・二三	二・三五
			雜費	二、三六四・八〇	二、三六四・八〇	八・八六
			計	二四六、九四七 ^円	二四六、九四七 ^円	一〇三・三六

備考 東京市小川尋常小學校々舎新築工事の爲、協議移轉に依りたる建物一棟此の移轉料總額八
千七百八十五圓六十錢の内、神田區に於て負擔したる五千三十圓七十錢は本表に含まず。

三 直轄移轉工事費並其の補償金

區 分 件	數	補 償 金	工 事 費	
				工 作 物
六	一	二〇・九 ^円	四八一・四〇 ^円	四八二・三〇
七	一	二〇・九	四〇・〇〇	五三・九〇
				五三・九〇

第八地區 乙 建物其の他の工作物移轉

第八地區 乙 建物其の他の工作物移轉

四 不許可建物の移轉料

六〇六

棟數	建物	延坪數	移轉料	區分		額	坪當
				内	金		
三			五、九五・二五	建物移轉料	六、六四・二五	一六・六	
				工作物移轉料	七、一九・七六	一・三	
				雜費	三、六三・七三	〇・七	
				計	九、五四・六四	一八・七	

五 豫告を受けざる占有者の移轉料

件數	移轉料	區分		額
		内	金	
四六	一、〇一・二三	工作物移轉料		
		造作移轉料		
		動産移轉料	一、二七・二五	
		休業補償	四九・五五	
		雜費	三五・三三	
		計	一一〇・一三	

第二節 補償金の決定通知と其の交付

移轉損害補償金の決定通知は大正十五年十二月より開始し、爾來決定の都度之が通知を爲し、昭和三

四六	二〇一・一三	重 産 移 轉 料	一、二七・五
		休 業 補 償	四九・五
		雜 費	二五・三
計	二一〇・一三		二一〇・一三

第二節 補償金の決定通知と其の交付

移轉損害補償金の決定通知は大正十五年十二月より開始し、爾來決定の都度之が通知を爲し、昭和三年七月を以て一先終了せるも、其の後に至り補償金の一部に變更を來したるものあり、之が變更通知は同四年十月に及びたり。

然るに前記通知書中住所不明の爲返送せられたるもの多數あり、右は何れも住所異動に因るものなるを以て、之等に對しては極力其の移轉先を調査の上、判明したるものには夫々通知を爲し、全く所在不明なるものに付ては、昭和三年七月十日以降三回に亘り本市公報に掲載し公示送達をなせり。

補償審査會に於て決定したる補償金及協議其の他の方法に依りたる移轉料は、昭和二年三月より之が交付を開始し、同六年三月末日迄に交付せし金額五百九十六萬九千八百八十二圓三十錢にして、内國負擔額二百四十七萬三千五百四圓五十一錢、市負擔額三百四十九萬六千三百七十七圓七十九錢なり。

而して昭和五年一月即ち移轉工事完了までに、要移轉建物の内抵當權の設定ありたるもの三百七十九棟此の件數二百五十六件あり、内建物二棟二件此の補償金三千八十八圓十四錢は、低當權者の支拂同意を得ざる爲、東京供託局に供託し、其の他は抵當權者の同意を得て支拂を了したり。

尙鎌倉町四番所在木造二階建一棟、三河町四丁目十一番所在木造平家建一棟は、何れも所有權移轉に關する訴訟の目的物たるの故を以て、各訴訟原告より同建物に對する補償金、前者は六百五十二圓十三錢、後者は二百七十圓七十七錢の供託方請求ありたるを以て之亦供託したり。

第五章 移轉實施

第一節 實施狀況

本地區に於ける移轉工事は別表に示すが如く、昭和二年一月より同四年七月迄に完了する豫定にして、之が實施の概要を述べれば、昭和二年に於ては豫定より遅れたるも、同三年及同四年に於ては工程順調に進捗したるを以て、最終工期たる昭和四年七月迄に工事完了の豫定なりし六千六十二棟の内、六千五十三棟は豫定期間中に、殘餘の九棟の内五棟は翌八月に、他の四棟は特別の事情に依り豫定に遅れ同五年一月に、尙建物以外の工作物も同時期迄に移轉を了したり、之を年別に示せば左の如し。

昭和二年に於ける移轉

昭和二年一月より十二月に至る工事豫定棟數二千二十三棟に對し、工事完了せるもの千二百十二棟、此の進捗歩合五割七分にして、殘餘の九百十一棟は工事未了の儘翌年に繰越したり。

昭和三年に於ける移轉

昭和三年一月より十二月に至る既定の工事豫定棟數三千五百四棟、之に前年より繰越しに係る九百十一棟を加へたる合計四千四百十五棟は、此の期に於て工事施行を要する棟數なり、内工事完了したるもの四千二十四棟此の進捗歩合九割一分一厘にして、殘餘の三百九十一棟は工事未了の儘翌年に繰越したり。

昭和四年に於ける移轉

昭和四年一月より七月に至る既定の工事豫定棟數四百三十五棟、之に前年より繰越しに係る三百九十一棟を加へたる合計八百二十六棟は、此の期に於て工事施行を要する棟數なり、内工事完了したるもの

八百十七棟にして、殘餘九棟の内五棟は翌八月に完了し、他の四棟は工事未了の儘更に翌年に繰越したり。

昭和五年に於ける移轉

昭和四年に於ける移轉

昭和四年一月より七月に至る既定の工事豫定棟數四百三十五棟、之に前年より繰越しに係る三百九十一棟を加へたる合計八百二十六棟は、此の期に於て工事施行を要する棟數なり、内工事完了したるもの

八百七十七棟にして、殘餘九棟の内五棟は翌八月に完了し、他の四棟は工事未了の儘更に翌年に繰越したるり。

昭和五年に於ける移轉

前年より工事未了の儘繰越したる四棟は、平永町十三、十四、十五番所在本市電氣局所管平永町變壓所並同附屬建物にして、電力供給の關係上換地に代るべき建物を新築し、變壓装置等整備したる後、電纜の切替へを要したる爲、之が建築及諸種の設備に意外の日子を費し、一月に至り漸く移轉を完了せり。

今前掲移轉を了したる建物を、更に其の手續別に分類するときは、命令に依りたるもの五千九百五十八棟（代執行を爲したるもの十四棟を含む）協議に依りたるもの百四棟なり。

尙本地区は神田區に於ける商業の中心地なるのみならず、神田青物市場の移轉並重要街路の新設、廢止に伴ふ電車軌道の移設等ありたる爲、相當苦心を要したるものあり、其の主なる事項を摘出し左に之を記述すべし。

一 神田青物市場移轉 神田青物市場は多町を主とし附近一帯の店舗より成る青果卸賣市場にして、市内に於ける市場中最も古き歴史を有し、其の關係營業者五百有餘の多きに上り、本市場に出入する商賈一日五千を下らず、市内樞要の市場たり。

前述の如く本市場は日常必需品の集散夥しく、而かも其の關係方面極めて廣汎なるが故に、移轉に際し全然休業するが如きは最も實行困難とする所なり、時恰も之を收容せんとする神田區山本町一番所在中央卸賣市場神田分場の新築工事中なりしを以て、之が落成を俟つて市場關係者の營業を同分場に移し、然る後關係者の建物を移轉せしむるを最も適策と認めらるゝも、地區内一般移轉の關係上、神田分場落成前に於て移轉計畫を樹つるの要あり、又當時同分場の落成期を確實に豫測し得ざりしを以て、前記市場關係者の建物も一般計畫内に組入れ關係營業者を數組に分ち順次移轉せしめ以て市場取引の休止を避

くることとし、其の工期を昭和三年六月より同年十二月迄として移轉命令を發したり。

然るに市場關係者中建物二百四十棟此の所有者百五十六名及同占有者百三十八名は、前記神田分場落成前に於て移轉を實行せば、必定營業を休止せざるべからず、殊に年末商繁期に近づくに従ひ益其の實行困難となるに依り、同分場竣功次第之に營業を移し、然る後建物の一齊移轉實施の爲移轉實施期を昭和四年一月末日迄延期方承認あり度旨陳情せり。

依て神田分場の竣功期を調査したるに昭和三年十一月末日迄に竣功し同十二月には全部收容し得る見込あることを確め得たるに依り之を認むるときは休業せずして移轉し得るを以て休業補償金及雜費の一部減額等に關する條件を附し右陳情を認容することとしたり。

而して市場關係者は昭和四年一月七日より移轉工事に著手し、同月末迄に大部分移轉を完了し、工事未了の儘翌月に繰越したるもの十餘棟ありしも、旬日を出ずして全部完了せり。

以上の如く市場關係者は、休業することなく移轉を了したるを以て、既決補償金二十五萬六千五百二十九圓六十二錢中より休業補償金五萬四千七百九圓五十錢及雜費の一部一萬三千五百三十四圓四十七錢計六萬八千二百四十三圓九十七錢を減額したり。

二 須田町交叉點附近に於ける移轉 須田町交叉點附近に於て、幹線第二號及同第四十六號街路の新設並省線萬世橋驛前の在來街路幅員の縮小に伴ふ電車軌道移設の爲、建物の移轉に關し尠からず苦心を要したり、即ち佐柄木町より須田町交叉點を経て兩國橋方面に通ずる軌道並通新石町より萬世橋驛前を経て昌平橋に至る軌道を廢止し、前者は幹線第二號街路に、後者は同第四十六號街路に之を移設することとなりたるを以て、從來の同交叉點は整理後に於て約八十米南方に移動したり。

之が爲須田町交叉點附近の建物は先づ幹線街路敷に存するものを撤去し、之に電車軌道を新設し舊軌道を撤去したる後其の換地豫定地に之を移築する順序なりしが、電車軌道の移設工事は相當長期に亘る

を以て建物移轉計畫に際し、本市電氣局と數次協議の上移設工事完了時期を豫測し、而して同所電車軌道に關係ある第四、第六、第十二乃至第十五の六箇移轉群に屬する建物三百七十七棟中已むを得ず工事中斷期間を二百日以上三百十日以下と爲したるもの四十棟、五十日以上百五十三日以下と爲したるもの三十棟合計七十棟の建物を一時撤去せしめ、電車軌道の移設を爲すこととしたり。

を経て昌平橋に至る軌道を廢止し、前者は幹線第二號街路に、後者は同第四十六號街路に之を移設することとなりたるを以て、從來の同交叉點は整理後に於て約八十米南方に移動したり。

之が爲須田町交叉點附近の建物は先づ幹線街路敷に存するものを撤去し、之に電車軌道を新設し舊軌道を撤去したる後其の換地豫定地に之を移築する順序なりしが、電車軌道の移設工事は相當長期に亘る

を以て建物移轉計畫に際し、本市電氣局と數次協議の上移設工事を豫測し、而して同所電車軌道に關係ある第四、第六、第十二乃至第十五の六箇移轉群に屬する建物三百七十七棟中已むを得ず工事中斷期間を二百日以上三百十日以下と爲したるもの四十棟、五十日以上百五十三日以下と爲したるもの三十棟合計七十棟の建物を一時撤去せしめ、電車軌道の移設を爲すことゝしたり。

而して之等工事中斷の建物に對する換地は豫定の時期迄に電車軌道の移設工事を終へ之を引渡すべきものなるに、該移設工事は動もすれば遅延せむとする傾向ありしを以て、市電當局と數次交渉を重ね尙關係者と協力を遂げたる結果工事は大體順調に進捗し、豫定に遅ること僅に二箇月にして昭和四年八月附近一帶の移轉を完了したり。

尙幹線第二號、同第四十六號街路の新設に伴ひ國有高架線に小柳町に於て「ガード」一箇所新設並萬世橋「ガード」に於て之が擴築を要するに至り、之が工事は前記電車軌道移設工事と同時に施行する必要ありしを以て、鐵道省と數回協議を重ね相互の連絡を保持し工事を進捗せしめたる結果、建物移轉其の他交通上支障なきを得たり。

三 小川町交叉點一齊移轉 小川町一番ノ一は其の南側幹線第二號街路に面し、其の西側同番地先より駿河臺南甲賀町に通ずる街路に接し、東西に長く稍長方形にして、之に所在する建物四十二棟の移轉計畫は、全部西方に目白押に順次移轉し、工程約四箇月にして移轉を完了する豫定なりしが、斯の如き長期間に亘り各自の行爲に放任するときは、其の移轉實施區々に亘り商業上の不利益尠からざるを憂ひ、町内の有志主唱者となり建物所有者及同占有者と協議を遂げ一齊移轉を斷行することゝ爲りしに依り、當局も亦可及的援助を與へ誘導努力したるを以て、短期間に移轉完了を告げたり。

四 美土代町一齊移轉 美土代町四丁目五番ノ一は、小川町電車交叉點に於て北は幹線第二號街路

に、西は幹線第十二號街路に面し、之に所在する建物六十八棟は前記兩街路の擴築に依り、順次後退するものとし、其の工期を約三箇月として移轉を完了せしむる豫定なりしが、當時同地番内の移轉は稍々遅延の状態にありたり、然るに同電車交叉點の對側は既に移轉を了したるも、右地番内建物の移轉未了なるに依り同所の交通圓滑ならず、從て歳末賣出にも支障を來す虞ありしを以て、町内有志の主唱に依り、各關係者協議の上營業上支障と爲らざる建物九棟を解體して暫時之を堆積し置き、道路敷となるべき部分の建物を急速に移轉する等、銳意移轉の促進を圖りたる爲短期間に移轉完了を告げ、道路工事も亦進捗したるを以て歳末賣出に支障なきを得たり。

五 錦町一丁目附近移轉促進 錦町一丁目附近の移轉は富士生命保險株式會社所有の同町一丁目三番（此の面積六百六十四坪五合三勺）所在建物其の他の工作物の移轉を最初とし、夫れより順次移轉する計畫なり、然るに右會社所有前記土地の換地は大部分當時連雀町十九番所在神田郵便局敷地及道路敷に該當し、會社が此の換地を完全に使用し得るは、須田町より昌平橋に至る電車軌道の移設及神田郵便局廳舎其の他の移轉後なるを以て、其の時期は全く豫測し難き状態なりしが、一面同會社所有の土地は大部分空地にして之に所在するは僅に建物三棟、工作物二件、動産一件なるに依り、一時之を他に移轉せしむるときは、錦町一丁目附近の移轉を促進し得るを以て、同會社に對しては其の換地の使用し得るに至る迄従前の土地の使用料を交付する條件を附し、協議移轉に依り前記建物等を現在地より撤去せしめ同所一帯の移轉促進を圖りたり。

移轉實施月別棟數表（本表棟數は協議移轉及直轄移轉のものを含む）

年	月	移轉命令	補償金決定	工事完了豫定	工事完了

第八地區 乙 建物其の他の工作物移轉

年	昭和二年												大正十五年									
	十月	十一月	十二月	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	移轉	命令	補償	金決定	工事完了	豫定	工事完了
月別	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六
累計	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六
月別	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六
累計	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六
月別	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六
累計	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六
月別	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六
累計	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六

移轉實施月別棟數表 (本表棟數は協議移轉のものを含む)

第八地區 乙 建物其の他の工作物移轉

昭和四年							昭和三年											
七	六	五	四	三	二	一	十二	十一	十	九	八	七	六	五	四	三	二	一
月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
三	一	一	一	三	一	一	一	一	一	一	七	七	三	五	二	七	二	一
六、〇六二	六、〇五九	六、〇五九	六、〇五九	六、〇五八	六、〇五五	六、〇五五	六、〇五五	六、〇五五	六、〇五五	六、〇五五	六、〇五五	六、〇四八	六、〇三二	六、〇〇八	六、〇〇三	五、九九二	五、二四〇	四、九四四
三	一	一	一	三	一	一	一	一	一	一	七	三	九	二	五	三	二	一
六、〇六二	六、〇五九	六、〇五九	六、〇五九	六、〇五八	六、〇五五	六、〇五五	六、〇五五	六、〇五五	六、〇五五	六、〇五五	六、〇四八	六、〇六六	五、〇六九	四、七八一	四、七八一	四、七六六	四、四〇一	四、〇四五
三	一	五	二	四	三	二	三	一	二	七	七	三	一	二	六	九	五	二
六、〇六二	六、〇五九	六、〇五九	六、〇五四	六、〇五二	六、〇一〇	五、七七一	五、五七二	五、五九二	五、五七八	五、五五二	五、四八四	五、二二〇	四、八七三	四、七二〇	四、四五一	三、八三七	二、九二六	二、三三四
三	一	一	元	一	二	三	三	二	二	六	五	三	二	四	三	二	一	一
六、〇五三	六、〇五〇	六、〇五〇	六、〇五〇	六、〇一一	五、八一九	五、五五三	五、一〇一	四、八七八	四、六四三	四、〇三三	三、四五一	三、〇六四	二、七九九	二、三三三	一、九〇八	一、五四三	一、三三八	一、三三八

昭和四年			
七月	六月	五月	四月
三	一	一	一
六、〇六二	六、〇五九	六、〇五九	六、〇五九
三	一	一	一
六、〇六二	六、〇五九	六、〇五九	六、〇五九
三	一	五	二
六、〇六二	六、〇五九	六、〇五九	六、〇五九
三	一	一	一
六、〇五三	六、〇五〇	六、〇五〇	六、〇五〇

昭和五年				
一月	十二月	十一月	十月	九月
一	一	一	一	一
一	一	一	一	一
一	一	一	一	一
一	一	一	一	一
一	一	一	一	一
四	一	一	一	五
六、〇六二	六、〇五九	六、〇五九	六、〇五九	六、〇五九

第二節 代執行

移轉命令を受け指定期限を経過し、現場係員より工事實施方に付屢次誘導督勵を爲すも、容易に其の義務を果さざる爲、戒告を爲したるもの建物八百九十六棟ありたり。
 戒告後尙其の義務を履行せざる爲代執行を爲したるもの建物十四棟あり、其の主なる原因は、借地權なく義務者自ら移轉すること困難なりしもの五人五棟、占有者立退を肯せず義務者自ら移轉し得ざるもの四人五棟、全く自己の怠慢に依るもの四人四棟なり。
 行政執行法に依り處分したるものを表示すれば左の如し。

區	分	件	數	建	物	棟	數	工	作	物	件	數
戒告書を發したるもの			七八				八六					
戒告後自ら移轉したるもの			七五				八二					
代執行を爲したるもの			一三				一四					

第八地區 乙 建物其の他の工作物移轉

第三節 臨時收容家屋

移轉工事開始に伴ひ臨時收容家屋の必要に迫られたるを以て、昭和二年五月小川町三十八番に移動式住宅十五棟、同物置三棟を設置し、同月より希望者に使用せしめ、爾來移轉工事の進捗に伴ひ使用希望者増加したるを以て順次増設を爲し、工事終了の直前迄其の用に供したり、之が棟數及收容世帶數等を示せば左の如し。

設置場所	棟數		設置撤去		住期	間	住		宅		物置	
	住宅	物置	年月	年月			世帶數	世帶數	人員	人員		
神田區小川町三十八番	一五	三	昭和二、五	昭和三、一	自昭和二、一	自昭和二、六	四八	三・二〇	二三八	一五・二〇	八	二・六七
同東紅梅町七番	三	三	同 二、六	三、二	自同 三、二	同上	一七二	七・八二	九三六	四二・五五	一八	六・〇〇
同三河町二丁目六、十九番	一	一	同 二、七	三、四	自同 三、四	同上	八	四・六三	四六五	二四・四七	一	一
同鎌倉町二十一番	三	三	同 二、八	二、一〇	自同 二、一〇	同上	一〇	〇・八三	五	四・四二	一	一
同皆川町三十三番	三	三	同 二、八	三、五	自同 三、五	同上	六九	五・三二	三二	二四・六九	一	一
同雉子町五、六、七、三十三番	三	三	同 二、八	三、八	自同 三、八	自昭和二、八	一九二	四九・二三	九八五	二五・二六	七	一・七五

設置場所	棟數	設置撤去	住期	間	住	宅	物置
同東紅梅町三番	一	同 二、九	自同 四、四	同上	四九	六・三二	三〇
同須田町二十四番	三	同 二、一〇	自同 三、六	同上	一〇〇	一六	一

同鎌倉町二十一番	同皆川町三十三番	同雉子町五、六、七、三十三番
三	三	三
同	同	同
二、八	二、八	二、八
二、一〇	三、五	三、八
至同	至同	至同
二、九	三、二	三、八
同	同	同
二、八	三、五	三、八
至同	至同	至同
二、九	三、二	三、八
同	同	同
二、八	三、五	三、八
至同	至同	至同
二、九	三、二	三、八
同	同	同
二、八	三、五	三、八
至同	至同	至同
二、九	三、二	三、八

同東紅梅町三番	同須田町二十四番	同關口町六、七番	同新銀町十番	同南甲賀町二十一番	日本橋區下槇町三、四番	同樽正町十番	同新右衛門町十七番	神田區蠟燭町四番	同連雀町七番	同須田町六番	計
固 分 七 一 三	三	三	五	四〇	五	二	一	五	三	四	二六三 分
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	三
二、九	二、一〇	三、三	三、三	三、三	三、五	三、六	三、六	三、六	三、七	三、九	三
四、四	三、六	三、八	三、一〇	三、一三	三、八	三、九	三、九	四、一	三、三	三、三	三
至同	至同	至同	自昭和 三、四	至同	至同	至同	至同	自昭和 三、六	至同	至同	三
四、二	三、三	三、五	三、四	三、二	三、五	三、七	三、七	三、一	三、七	三、九	三
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	三
三、八	三、三	三、四	三、四	三、二	三、五	三、七	三、七	三、一	三、七	三、九	三
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	三
四、八	三、一〇	三、八	三、一〇	三、一三	三、八	三、九	三、九	四、一	三、三	三、三	三
六、六	三、一〇	三、四	三、四	三、四	三、五	三、七	三、七	三、一	三、七	三、九	三
上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	三
四九	三	一	一七	一三	五	一	一	一七	一〇	七	一、二三
六、三	一〇〇	一〇〇	三、四〇	三、四〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	三、四〇	三、三	一七五	四、八四七、〇八
九、四	一六	一	九〇	八五	三	三	三	八	四	三	二六、五
三、七	五、三	一	一八〇〇	二、一三	六、六〇	一〇	一〇	一七、六〇	一五、三	九〇〇	二六、五
一	一	八	三	一	一	一	一	八	一	四	六
一	一	一	四〇〇	一	一〇、五	一〇、五	一〇、三	四〇〇	一	二〇〇	二、九

備考 一 棟數欄に「固」とあるは固定式にして、其の他は移動式なり。
 一 固定式住宅は六戸建なり。
 乙 建物其の他の工作物移轉

第八地區

六一七

一 固定式に對する本表の平均數は、總て戸數を以て算出す。

第四節 宅地造成

本地區は地勢大體に平坦なるも、西北部に駿河臺の傾斜地を包含せる爲、此の區域即ち小川町、淡路町及南甲賀町の一部に於て、比較的多くの宅地造成工事を要したり、而して工事總件數八十三件百三十四箇所、内土留工最も多く四十四件四十九箇所内大谷石積工十九件十九箇所、此の面坪二百十三坪〇三、板柵工一件一箇所、此の面坪一坪三四、間知石積工十一件十一箇所、此の面坪二百二坪二一、コンクリート工十三件十八箇所、此の面坪百二十三坪八一にして、其の他は切土工二十二件四十三箇所、盛土工十二件三十七箇所、假下水五件五箇所なり。

工事著手は昭和二年四月鎌倉河岸二十一號の土留石垣工事を最初とし、爾來建物移轉の進捗に伴ひ順次各種工事を施行せり、而して鎌倉河岸の護岸修築竝根圍工事は地盤軟弱なりし爲意外の困難を見たり、然れども工事は逐次進捗し昭和五年三月小川町十一番の切土工事を最後とし、八十三件の工事を全部完了したり、之に因る宅地造成完了總面積は一萬二千七百五十五坪四勺なり、今其の工事狀況を見るに左の如し。

假下水	工事種別	工事		數量	金額	内		營		請		譯	
		件數	箇所			件數	箇所	數量	金額	件數	箇所	數量	金額
五		五	五	二一〇・七〇 ^間	二九九・六〇 ^円	—	—	—	—	五	五	一一〇・七〇 ^間	二九九・六〇 ^円

土留工	盛土工	切土工
四	三	三
四九	三七	四三
五〇〇・三元 ^{面坪}	一〇三・八五 ^{立坪}	一〇七・一九 ^{立坪}
一八、五八・五	四、六六・三七	九、六四・四六
—	三	九
—	四	一四
—	—	—
—	一〇・五〇 ^{立坪}	五〇・〇八 ^{立坪}
—	六・八八	四九・九二
—	九	一三
四九	三	二九
五〇〇・三元 ^{面坪}	一〇三・三三 ^{立坪}	一〇五・二二 ^{立坪}
一八、五八・五	四、六四・四九	九、一四・五五

第八地區 乙 建物其の他の工作物移轉

土留工	盛土工	切土工	計
四	三	三	〇
四九	三七	四三	一四九
五四・三元	一〇三・八五	一〇七・一九	三、一五・九
一八、五六・五	四、六六・三	九、六四・四	三、一五・九
一	三	三	三
一	四	四	八
一	一〇・五	五四・〇八	五四・〇八
一	六・八八	四〇九・九	四七・九
四	九	三	七
四九	三	二九	二六
五四・三元	一〇三・三	一、〇五・二	一、〇五・二
一八、五六・五	四、六四・四	九、一九・五	三、六七・〇

假下水	工事種別		數量	金額	直		營		請		負	
	件數	箇所			件數	箇所	件數	箇所	件數	箇所	件數	箇所
五	五		二〇・七〇	二九・六〇	一	一	一	一	五	五	二〇・七〇	二九・六〇

し本地区には之を省略せり、而して本地区に於ける整理費は四十五萬七千三百二十圓七十五錢にして内
 私有管線の二十七萬九千六百六十四圓十一錢を最高とし、一地區集計の十二萬八千三百五十七圓三十錢之
 に次ぎ其の他は假本整理、道路後修、應急整理一工事の順序なり、是等の工事並支拂狀況を示せば左の
 如し。

工事一覽

種別	市水道局		市電氣局		東京電燈株式會社		東京瓦斯株式會社		電話		計	
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額
一地區集計	管線路 五、〇四八 間	四三、七九三・四三	二、六〇〇 間	三、四七・三	二五三 本	三三、三六一・四	一三、〇九七 間	四二、一三・四八	—	—	三〇、二五七・五	三六、七九・一六
電柱	—	—	五三本	—	—	—	—	—	—	—	三五本	—
應急整理	管線路 一六七 間	四九七・四九	二、四〇〇 間	二、三三・三七	—	—	五八〇 間	七四・三四	—	—	三三八七	一、五三・二〇
其他	—	—	九所	—	—	—	四所	五・六三	—	—	一八	二、八三四・三八
假本整理	管線路 五四〇・三 間	四、〇三二・八七	二、七四〇 間	一、五五・九五	五〇 間	二二・一九	五六六・三	五、三三・三五	—	—	四六二	一九、七三・〇六
電柱	—	—	三三本	—	—	—	—	—	—	—	三	—
其他	—	—	二所	—	—	—	—	—	—	—	三	—
假本整理計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
管線路	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
電柱	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
其他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
假本整理其他計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
私有管線	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
道路後修	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	四、八八七 件	二六、一〇三・九三	一七五 件	三三、二六・六	六、三九五 件	一七、六三三・三五	三、九四〇 間	二四、七〇・八五	一八 件	—	二五、三九九 件	四七、三〇・七五

備考 一 數量欄中には附帶工事數量は掲げざるも金額は合算せり。
 第八地區 丙 地下埋設物其他工作物整理

道路後修	一八七 <small>件</small>	三、七四・二四	二七八 <small>件</small>	四、八三・六四	二六三 <small>件</small>	三、〇八・六六	一 <small>件</small>	八三・五五	七三九 <small>件</small>	一一、六四八・三九
合計	二九、四〇・七五		二四八、四三・三六		六、〇二・六六		二、二五・三六	三	四、七三・七五	
進捗歩合%	二六		五四		一七		三		一〇〇	

國市負擔區分

種別	水道		電氣		瓦斯	電話	計
	市	國	市	國			
一地區集計	市負擔	國負擔	市	國			
	一六、六四一・五〇	二七、五二・九三	五、九四九・五〇	九、七〇七・〇九	一六、〇〇六・五四		四八、七五・七六
計	四三、七九三・四三		一五、六六六・五九		四三、二三・四八		二八、三三・三〇
應急整理一工事	市負擔	國負擔	市	國			
	七八・五四		二、一四三・九七		七五・九六		二、一四三・九七
計	七八・五四		二、一四三・九七		七五・九六		五、四七八・八五
假本整理	市負擔	國負擔	市	國			
	四、〇三・八七	一四七・五一	二、八七四・八〇		七五・九六		七、六三三・八二
計	四、一七〇・三八		二、八七四・八〇		七五・九六		一四七・五一
事業者拂	市負擔	國負擔	市	國			
	六〇、九九・七三	五、一五・九〇	一、〇四六・六四	八三・三六	四七、七五・九五		九〇、七七〇・一九
計	一〇〇、一三四・三三		一、〇四六・六四		四七、七五・九五		一五二、三三三・五六
私有管現金補償 線(個人拂)	市負擔	國負擔	市	國			
	五、一五〇・一九	四、一五二・三三	二二七・四八	二九二・一八	四、三八・〇七		一九、六二四・七一
計	九、四〇一・一八		二二七・四八		四、三八・〇七		三六、〇六一・三六

第八地區 丙 地下埋設物其他工作物整理

第八地區 丙 地下埋設物其他工作物整理

種別	計		支拂未濟	計
	國負擔	市負擔		
國負擔	四三、三六七・三三	一、二四・五四	一八二・〇五	一〇七、二六・八四
市負擔	六六、一四八・九二	一、一六四・二二	四五・二〇	一七一、九四七・七
計	一〇九、五二六・二四	二、三六・六六	六三・二五	二七九、一四・二
市負擔	二、八七・四三	四三・七二	—	一一、六四・三
國負擔	七〇、六六・六六	二、九六五・六〇	一八二・〇五	一八九、〇八九・八六
計	九〇、四四・二六	一〇、一〇〇・七	四五・二〇	二六八、三〇・八九
市負擔	一六二、一六〇・九二	三三、一六六・三八	一四、七〇四・八五	四三七、三〇・七五
國負擔	—	—	—	—
計	—	—	—	—

六二四

年度別工事費支拂進捗状況

種別	昭和二年		昭和三年		昭和四年		昭和五年		支拂未濟	計
	國負擔	市負擔	國負擔	市負擔	國負擔	市負擔	國負擔	市負擔		
一地區集計	—	—	六五、四八・三	一七、〇五〇・二四	四五、八八・八五	—	—	—	—	一八、三三・三〇
應急整理一工事	一九、四八	—	一、九七三・三三	二、八七四・四七	二、七五・五五	—	—	—	—	七、六三・八二
假本整理	五四・三三	—	二、四九八・八二	一五、四三・九四	二、五六一・〇四	—	—	—	—	三〇、五八・二三
私有管線	二、六九・七	—	一四八、五〇・六二	一三、七八六・七七	四、七六・五二	—	—	—	—	一七九、六四・一一
道路後修	—	—	三、八七・六〇	六、七一・七六	一五・八一	—	—	—	—	一一、六四八・三元
計	二一、七五・三三	—	三三三、三六・七七	二五、八三七・一八	六六、〇九・七六	—	—	—	—	四三七、三〇・七五
進捗歩合%	二	—	四九	三四	一四	—	—	—	—	一〇〇

第二章 本校管線處理

第一節 應急整理一地區集計

進捗歩合%	二	四	一四	一	100
計	二、七五三・三	三三、三六七・七	一五、八三二・八	六、七二七・六	三、八七六・〇
道路後修	—	—	—	—	—

第二章 本枝管線處理

第一節 應急整理一地區集計

本地區に於ける當初契約數量は電柱三百十七本、管線路二萬四百三十間五及之に關係せる各種工作物にして此の整理費十四萬七千六百十四圓六十七錢なり、而して假契約は市電及東電工作物に關し昭和二年四月二日締結したるを、工事は市電工作物に關し同月七日著手したるを、本契約は水道工作物に關し昭和三年五月七日締結したるを、各々最初としそれより逐次各事業者と契約を締結し工事を施行したり、其の事業者別契約並工事狀況を示せば左の如し。

事業者	假契約年月日	本契約年月日	工事著手年月日	工事竣功年月日
市水道局	昭和 二、 四、 二	昭和 三、 五、 七	昭和 二、 四、 二五	昭和 五、 二、 二五
市電氣局	昭和 二、 四、 二	昭和 三、 六、 二〇	昭和 二、 四、 七	昭和 五、 七、 二
東京電燈株式會社	昭和 二、 四、 二	昭和 三、 七、 二二	昭和 二、 四、 八	昭和 五、 一、 二〇
東京瓦斯株式會社	昭和 二、 五、 二〇	昭和 三、 六、 二	昭和 二、 五、 二六	昭和 五、 八、 三

工事施行中設計變更を爲したる件數七十三件ありたる結果整理數量に於て減少したる爲工事費に於ては一萬九千二百五十七圓三十七錢の減額を爲せり、其の設計變更狀況を見るに左の如し。

種別	電柱		管線		計
	數量	金額	數量	金額	
當初契約	三七 ^本	二元、一五 ^円 ・三一	二〇、四三〇 ^開 ・五	二八、四七九 ^円 ・三六	一四七、六四 ^円 ・空
設計變更後(精算)	三五	二六、七九 ^円 ・二六	二〇、五七 ^開 ・五	一〇、五六 ^円 ・二四	二八、三三 ^円 ・三〇
差引増△減	△三	二、三六 ^円 ・一五	△一七 ^開 ・〇	△一六、九二 ^円 ・二二	△一九、三三 ^円 ・七

尙工事並支拂狀況を示せば左の如し。

工事進捗狀況

年度	電柱		管線		計
	數量	金額	數量	金額	
昭和二年	二五 ^本	一〇、七八 ^円 ・二九	二、六七 ^開 ・四	一五、〇九 ^円 ・一五	二五、三〇 ^円 ・四
昭和三年	二六	一〇、三三 ^円 ・三三	六、八九 ^開 ・三	一六、七六 ^円 ・五	四七、〇六 ^円 ・七七
昭和四年	六	五、七九 ^円 ・四九	八、三三 ^開 ・一	四一、二九 ^円 ・五九	四七、〇二 ^円 ・〇八
昭和五年	六	三、八六 ^円 ・二六	二、四七 ^開 ・七	八、五九 ^円 ・八五	八、九〇 ^円 ・〇一
計	三五	三六、七九 ^円 ・二六	二〇、二五 ^開 ・七	一〇一、五八 ^円 ・一四	二八、三三 ^円 ・三〇
					一〇〇

支拂狀況

年度	國負擔	市負擔	計	歩合%
昭和二年				
昭和三年				
昭和四年				
昭和五年				
計				
				一〇〇

昭和五年	三六・一六	二、四七・七	八、五九・八五	八、九〇六・〇一	七
計	三〇五	二六、七九・一六	一〇一、五八・一四	二八、三三・三〇	一〇〇

支拂状況

年度	國負擔	市負擔	計	歩合%
昭和三年	四〇、五七・九二	二四、八七・〇二	六五、四四・二四	五一
昭和四年	一〇、五七・一六	六、四九・〇八	一七、〇六・二四	三三
昭和五年	二八、四三・四	一七、四六・元	四五、八八・八五	三六
計	七九、五八・四	四八、七九・七六	一二八、三七・三〇	一〇〇

第一 水道

一 契約 昭和二年四月十一日管線路四千八百二十二間五及關係工作物に對し整理費五萬千百五十圓七十八錢を以て整理に關する假契約を爲し更に同三年五月七日之が本契約を締結したり、右整理費の國市負擔區分は國三萬千七百十三圓四十八錢、市一萬九千四百三十七圓三十錢なり。

二 工事 昭和二年四月十一日假契約成立せるを以て同月十四日最初の工事要求を爲し同月二十五日工事に著手しそれより逐次各種工事を施行せり、然るに施行中九件の設計變更を爲したる結果新設三千七百三十八間六、撤去五百六十八間五、埋殺七百四十一間七計五千四十八間八となり管線路に於て二百二十六間三の増加を爲したり、而して昭和五年二月二十五日を以て總工事を完了し同年六月一日竣功検査を了したり、其の進捗狀況を示せば左の如し。

年 度	管 線		歩 合 %
	數	量	
昭 和 二 年	八八・九 ^間	七、六三・八五 ^円	一七
昭 和 三 年	二、三〇・八	二〇、一四・九八	四
昭 和 四 年	一、八四・一	一五、九四・六〇	七
計	五、〇四・八	四、七三・四三	一〇〇

三 精 算 本地區に於ける契約金額五萬千五百五十圓七十八錢内國負擔三萬千七百十三圓四十八錢、市負擔一萬九千四百三十七圓三十錢にして、第一回前渡金は昭和三年五月十九日、第二回前渡金は同四年六月十二日支拂手續を爲し、同五年九月八日精算を完了したり。

設計變更の結果精算金額四萬三千七百九十三圓四十三錢となり契約金額に比し七千三百五十七圓三十五錢の減額を見たり、之を工種別に見るに新設三千七百七十一圓金額二萬八千二百三十七圓二十二錢、移設五百六十七圓六金額一萬千七百九圓六十三錢、その他金額三千八百四十六圓五十八錢にして國市負擔區分は國二萬七千五百五十一圓九十三錢、市一萬六千六百四十一圓五十錢なり、其の精算狀況を示せば左の如し。

負擔別對照表

負 擔 區 分	潰 地 面 積	比 率 %	契 約 金 額	精 算 金 額	差 引 増 △ 減
國 負 擔 幹 線 街 路 費	二、三、五〇・六 ^坪	六三	三、七三・四八 ^円	二、七、一五・九三 ^円	△ 四、五、一・五五 ^円

市 負 擔		補 助 線 街 路 費	土 地 整 理 費	小 公 園 費
		二、〇七・〇四	一、四九七・〇四	八四・五〇
		六	三〇	二
		三、〇六九・〇四	一五、三四五・四	一、〇三三・〇二
		二、六七・六〇	三、一八・〇三	八七・八七
		△ 四四・一四	△ 二、〇七・二二	△ 一四七・一五

負擔區分	潰地面積	比率%	契約金額	精算金額	差引増△減
國負擔 幹線街路費	二、四〇・六 ^坪	三	三、七三・四 ^円	二七、二五・九 ^円	△ 四、五六・五 ^円

補償金對照表

工種	市負擔			契約金額	精算金額	差引増△減
	補助線街路費	土地整理費	小公園費			
既設工作物と整理工作物と一致せる部分	二、〇七・〇四	一、四九七・〇四	八四・五〇	二七、五七・五〇 ^円	二四、五六・〇四 ^円	△ 三、〇一・四六 ^円
過不足分(一致せざる部分)				一六、五四・一四	一五、四〇・八一	△ 一、一三・三三
累計する分				三、七〇・八九	一、五八・二〇	△ 二、一四・六九
小計				四七、八八・五三	四一、四五・〇五	△ 六、三三・四八
附帯工事分(假工事を含む)				三、四二・二五	二、三六・三六	△ 一、〇五・八七
補償額計				五一、五〇・六八	四三、七九・四一	△ 七、三三・二五
合計	三、七、九〇・二四	一〇〇	五、一五〇・六八	四三、七九・四一	七、三三・二五	

第二電氣

(イ) 市電

一 契約 昭和二年四月二日電柱五十二本、地中線三千百三十一間及關係工作物に對し整理費一萬八千百六十七圓五十六錢を以て整理に關する假契約を爲し更に同三年六月二十日之が本契約を締結し

第八地區 丙 地下埋設物其他工作物整理

たり、右整理費の國市負擔區分は國一萬千二百六十三圓八十九錢、市六千九百三圓六十七錢なり。

二 工事 昭和二年四月二日假契約成立せるを以て同月四日最初の工事要求を爲し同月七日工事に著手しそれより逐次各種工事を施行したり、然るに施行中二十五件の設計變更を爲したる結果電柱新設三十二本、撤去二十一本計五十三本、地中線新設八百十間五、撤去千八百五十九間五計二千六百七十四間となり電柱に於て一本増加したるも地中線に於ては四百六十一間の減少を爲したり、而して昭和五年七月二十一日を以て總工事を完了し同年八月十日竣功検査を了したり、其の進捗狀況を示せば左の如し。

年 度	電 柱		地 中 線		計	歩 合 %
	數 量	金 額	數 量	金 額		
昭 和 二 年	一四本	九〇・一七	三八〇・八	一、七五〇・三	二、六五二・元	七
昭 和 三 年	一五	九六七・一〇	五八・五	二、四七二・三	三、四三九・四三	三
昭 和 四 年	一八	一、一六二・八九	一、六八四・〇	七、七〇・七	八、八七二・六三	五
昭 和 五 年	六	三六・二六	六・七	三〇五・九	六九二・一四	五
計	五三	三、四七三・三	二、六〇〇・〇	二、三三九・七	一五、六六六・五	一〇〇

三 精 算 本地區に於ける契約金額一萬八千六百六十七圓五十六錢内國負擔一萬千二百六十三圓八十九錢、市負擔六千九百三圓六十七錢にして、前渡金は昭和三年六月三十日支拂手續を爲し、同五年十月四日精算を完了したり。

設計變更の結果精算金額一萬五千六百五十六圓五十九錢となり契約金額に比し二千五百十圓九十七錢

の減額を見たり、之を工種別に見るに新設電柱十三本、地中線九十間七金額五千九百八十九圓七錢、移設電柱十九本、管線路七百十九間八金額九千三百九十九圓八十七錢、其の他金額二百六十七圓六十五錢にして國市負擔區分は國九千七百七圓九錢、市五千九百四十九圓五十錢なり、其の精算狀況を示せば左の如し。

三 精算 本地區に於ける契約金額一萬八千六百六十七圓五十六錢內國負擔一萬二千二百六十三圓八十九錢、市負擔六千九百三圓六十七錢にして、前渡金は昭和三年六月三十日支拂手續を爲し、同五年十二月四日精算を完了したり。
設計變更の結果精算金額一萬五千六百五十六圓五十九錢となり契約金額に比し二千五百十圓九十七錢

の減額を見たり、之を工種別に見るに新設電柱十三本、地中線九十間七金額五千九百八十九圓七錢、移設電柱十九本、管線路七百十九間八金額九千三百九十九圓八十七錢、其他金額二百六十七圓六十五錢にして國市負擔區分は國九千七百七圓九錢、市五千九百四十九圓五十錢なり、其の精算狀況を示せば左の如し。

負擔別對照表

負擔區分	潰地面積	比率%	契約金額	精算金額	差引増△減
國負擔	一三、五四・六 ^坪	三	一一、五三・八九	九、七七・〇九	△ 一、五六・八〇
幹線街路費	二、〇七・〇四	六	一、〇九・〇五	九三・三九	△ 一五・〇六
補助線街路費	二、四七・〇四	三〇	五、四五・二七	四、六六・九六	△ 七三・二九
土地整理費	八四・五〇	二	三三・三五	三三・一三	△ 五〇・三二
小公園費	一四、三六・六	八	六、九三・三	五、四九・五〇	△ 九四・七
市負擔	三三、九二・四	一〇〇	一八、一七・六	一五、六六・五	△ 二、五〇・九七
合計	三三、九二・四	一〇〇	一八、一七・六	一五、六六・五	△ 二、五〇・九七

補償金對照表

工種	契約金額	精算金額	差引増△減
既設工作物と整理工作物と一致せる部分	一四、四三・八八	一一、九三・一七	△ 二、五〇・七
過不足分(一致せざる部分)	二、八九・八三	三、四五・七七	△ 五六・九四

第八地區 丙 地下埋設物其他工作物整理

第八地區 丙 地下埋設物其他工作物整理

果計する分	小計	附帶工事分(假工事を含む)	補償額計
五七・七	一七、三〇・四	八五・三	一八、二六・五
△	△	△	△
五七・七	一、九三・五〇	一、九七・五	二、五〇・九七

六三二

(ロ) 東電

一 契約 昭和二年四月二日電柱二百六十五本、地中線百二十七間及關係工作物に對し整理費二萬九千五百六十六圓十九錢を以て整理に關する假契約を爲し、更に同三年七月二十三日之が本契約を締結したり、右整理費の國市負擔區分は國一萬八千三百三十一圓四錢、市一萬千二百三十五圓十五錢なり。

二 工事 昭和二年四月二日假契約成立せるを以て同月四日最初の工事要求を爲し、同月八日工事に著手しそれより逐次各種工事を施行せり、然るに施行中三十三件の設計變更を爲したる結果電柱新設百二十五本、撤去百二十七本計二百五十二本、地中線新設五十七間、撤去百七十二間計二百二十九間となり電柱に於て十三本減少したるも管線路に於ては百二間の増加を爲したり、而して昭和五年一月二十日を以て總工事を完了し同年五月二十日竣功検査を了したり、其の進捗狀況を示せば左の如し。

年 度	電 柱		地 中 線		計	歩 合 %
	數 量	金 額	數 量	金 額		
昭和二年	101 ^本	九、三六・三 ^円	九三 ^間	一、三二・六〇 ^円	一〇、七五・七 ^円	四〇
昭和三年	101	九、三六・三	三三〇	五三・六	九、八九・七	三七

昭 和 四 年	計	昭 和 三 年	計	昭 和 二 年	計
五〇	三、三八・八	四、六九・六	三、四二・六	一〇二・〇	一、五七・七
一三	三、九〇・〇	三、九〇・〇	三、四二・六	一〇二・〇	一、五七・七
二六、七四・八〇	二六、七四・八〇	二六、七四・八〇	二六、七四・八〇	二六、七四・八〇	二六、七四・八〇
100	100	100	100	100	100

年度	數量	金額	數量	金額	計	歩合%
昭和二年	101 ^本	九,三七六・三	九三・〇 ^間	一,三八一・六〇	一〇,七五七・三	四〇
昭和三年	101	九,三七六・三	三三・〇	五〇三・六	九,八九九・七六	三七

昭和四年	計
五〇	三三
四,六九・六〇	三,三八一・八四
101・〇	三三・〇
一,五七七・二	三,四〇三・六
六,一四七・三	二六,七四・八
一三	100

三 精算 本地區に於ける契約金額二萬九千五百六十六圓十九錢内國負擔一萬八千三百三十一圓四錢、市負擔一萬千二百三十五圓十五錢にして、前渡金は昭和三年八月七日支拂手續を爲し、同五年七月九日精算を完了したり。

設計變更の結果精算金額二萬六千七百八十四圓八十錢となり契約金額に比し二千七百八十一圓三十九錢の減額を見たり、之を工種別に見るに新設電柱一本、地中線三間三金額千六百五圓五錢、移設電柱百二十四本、地中線五十三間七金額二萬二千四百八十二圓五十四錢、その他金額二千六百九十七圓二十一錢にして國市負擔區分は國一萬六千六百六圓五十八錢、市一萬百七十八圓二十二錢なり、其の精算狀況を示せば左の如し。

負擔別對照表

負擔區分	潰地面積	比率%	契約金額	精算金額	差引増△減
國負擔 幹線街路費	二三,五四・六 ^坪	六二	一八,三三一・四 ^円	一六,六六・五 ^円	△ 一,七四四・四 ^円
補助線街路費	二,〇三七・〇四	六	一,七七三・九七	一,六〇七・〇九	△ 一六六・八八
土地整理費	二,四九七・〇四	三〇	八,八九九・八六	八,〇三三・四四	△ 八六六・四二
市負擔 小公園費	八四・五〇	二	五九一・三三	五五五・九九	△ 三五五・三四
計	四,三六八・五八	八	二一,三三三・一五	二〇,一七六・三三	△ 一,一五六・八二
合 計	三七,九〇九・二四	100	二九,五五六・一九	二六,七四・八〇	△ 二,八一・三九

第八地區 丙 地下埋設物其他工作物整理

補償金對照表

工種	契約金額	精算金額	差引増△減
既設工作物と整理工作物と一致せる部分	二五、四七・五 ^円	二三、四八・五 ^円	△ 二、九四・〇三
過不足分(一致せざる部分)	一、五四・九七	一、六五・〇五	△ 六三・〇八
累計する分	—	二九三・三五	△ 二九三・三五
小計	二七、〇一・四 ^四	二四、一〇・四 ^四	△ 二、九一・〇〇
附帯工事分(假工事を含む)	二、四七・五 ^五	二、〇三・八 ^六	△ 四三・七 ^九
補償額計	二九、五八・九 ^九	二六、一四・八 ^〇	△ 三、四四・一 ^九

第三 瓦 斯

一 契 約 昭和二年五月二十日管線路一萬二千三百五十間及關係工作物に對し整理費四萬八千七百三十圓十四錢を以て整理に關する假契約を爲し更に同三年六月二日之が本契約を締結したり、右整理費の國市負擔區分は國三萬二百十二圓六十九錢、市一萬八千五百十七圓四十五錢なり。

二 工 事 昭和二年五月二十日假契約成立せるを以て同月二十三日最初の工事要求を爲し同月二十六日工事に著手しそれより逐次各種工事を施行せり、然るに施行中六件の設計變更を爲したる結果新設三千九百二十八間一、撤去二千八百五十六間三、埋殺五千五百二十五間三計一萬二千三百九間七となり、管線路に於て四十間三の減少爲をしたり、而して昭和五年八月三日を以て總工事を完了し同月三十日竣功検査を了したり、其の進捗狀況を示せば左の如し。

年 度	管 線 路		歩 合 %
	數	量 金 額	

十六日工事に著手しそれより逐次各種工事を施行せり、然るに施行中六件の設計變更を爲したる結果新設三千九百二十八間一、撤去二千八百五十六間三、埋殺五千五百二十五間三計一萬二千三百九間七となり、管線路に於て四十間三の減少爲をしたり、而して昭和五年八月三日を以て總工事を完了し同月三十日竣功検査を了したり、其の進捗状況を示せば左の如し。

年 度	管 線		歩 合 %
	數 量	金 額	
昭 和 二 年	一、一五〇・七 ^間	四、一九六・四 ^円	一〇
昭 和 三 年	三、九七六・〇	一三、六〇五・六〇	三
昭 和 四 年	四、六八二・〇	一六、〇〇六・五	三
昭 和 五 年	二、四〇一・〇	八、二三三・七	二〇
計	二二、四〇三・七	四一、三三三・四	一〇〇

三 精 算 本地區に於ける契約金額四萬八千七百三十圓十四錢内國負擔三萬二百十二圓六十九錢、市負擔一萬八千五百十七圓四十五錢にして、第一回前渡金は昭和三年六月二十九日、第二回前渡金は同年十二月十二日支拂手續を爲し、昭和五年十月二十九日精算を完了したり。

設計變更の結果精算金額四萬二千二百二十二圓四十八錢となり、契約金額に比し六千六百七圓六十六錢の減額を見たり、之を工種別に見るに新設九百二十間一金額五千八百五十二圓八十四錢、移設二千八百五十六間三金額二萬五千五百八十七圓六十七錢、埋殺四千六百十五間二金額三千三百二十三圓四十九錢、其他金額七千三百五十八圓四十八錢にして、國市負擔區分は國二萬六千百十五圓九十四錢、市一萬六千六圓五十四錢なり、其の精算狀況を示せば左の如し。

負擔別對照表

負擔區分	潰地面積	比率%	契約金額	精算金額	差引増△減
國負擔 幹線街路費	二、三、五〇・六 ^甲	三	三〇、二二・六 ^甲	二六、二五・九 ^甲	△ 四、〇九六・七五
補助線街路費	二、〇三七・〇四	六	二、九三・八〇	二、五七・五	△ 三九六・四
土地整理費	一一、四九七・〇四	三〇	一四、六九・〇五	一二、六六・七四	△ 一、九八・三
市負擔 小公園費	八四、五〇	二	九四・六〇	八四・四	△ 一三・二
計	一四、三六八・六	元	一八、五七・四	一六、〇六・四	△ 二、五〇・九
合計	三七、六九二・四	一〇〇	四八、七三〇・二四	四三、二二・四	△ 六、六〇七・六

補償金對照表

工種	契約金額	精算金額	差引増△減
既設工作物と整理工作物と一致せる部分	三五、三三・六 ^甲	三三、四〇・五 ^甲	△ 三、八九二・〇八
過不足分(一致せざる部分)	三、三二・四	三、三三・四	△ 九・〇四
累計する分	五、六五・〇九	五、六四・〇〇	△ 一・〇九
小計	四〇、三〇〇・一三	四〇、四八・〇〇	△ 一、一八二・一三
附帯工事分(假工事を含む)	四、四三〇・〇一	一、六七・四八	△ 二、七五二・五三
補償額計	四八、七三〇・一四	四三、二二・四	△ 六、六〇七・六

第二節 應急整理一工事

本地區に於ける應急整理一工事は件數四十五件整理費七千六百二十二圓八十二錢にして昭和二年六月二十二日市水道局關係工作物の整理に著手したるを最初としそれより逐次各種工事を施行せり、之を事

補償額計	附帶工事分(假工事を含む)	小計	計	計	計
四、七〇・二四	四、四三〇・〇一	四〇、四八、〇〇	五、六四、〇〇	三、八五、一三	三〇・九
四、七〇・二四	一、六七四・四八	四〇、四八、〇〇	五、六四、〇〇	二、七五、一三	三〇・九
四、七〇・二四	四、七〇・二四	四〇、四八、〇〇	五、六四、〇〇	二、七五、一三	三〇・九

第二節 應急整理一工事

本地区に於ける應急整理一工事は件數四十五件整理費七千六百二十二圓八十二錢にして昭和二年六月二十二日市水道局關係工作物の整理に著手したるを最初としそれより逐次各種工事を施行せり、之を事業者別に見るときは市水道局六件金額七百八十八圓五十四錢、市電氣局十五件金額二千八百七十四圓八十錢、東京電燈株式會社十六件金額三千百六十三圓五十二錢、東京瓦斯株式會社八件金額七百九十五圓九十六錢なり、其の工種別及工事並支拂狀況を示せば左の如し。

工事種別

種別	水道		市電		東電		瓦斯		計	
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額
道路工事	一六・七 ヶ所	四九七・四九	三ヶ所	三三・三〇	二本	一三・五六	五〇 ヶ所	七四二・二四	七四・七 ヶ所	一、三三九・八三
管線路	四ヶ所	二九一・〇五	二本	三三・三〇	二本	一三・五六	四ヶ所	五三・三三	二ヶ所	三七八・九七
其他		六八・四六	二本	一六・八二	二本	一三・五六		七五・九六	四本	一、六三三・三八
計										
電柱			二六〇 ヶ所	二八五・七七	一ヶ所	二六・〇六			二六四 ヶ所	二八五・七七
管線路			六ヶ所	二、三九・三五		六三三・七〇			七ヶ所	二、四四一・四一
其他				二、六九・四六		六三三・七〇				三、三三三・二四
計										
出入口			三本	一六〇・九六	三本	一三三・四六・二四			一五本	二、六三七・二〇
電柱										

第八地區 丙 地下埋設物其他工作物整理

年	度	國	市	計	歩
昭和二年				一九〇八 ^円	一
昭和三年				一九七三 ^三	二五

昭	和	計
昭和四年		二、八四・四七
昭和五年		二、七六・五五
	計	七、六三・八三

第一 水道

工事は昭和二年六月駿河臺南甲賀町一番地先に於ける水道鐵管移設工事を最初としそれより逐次各種工事を施行し、同四年六月佐柄木町十四番地先に於ける水道鐵管切廻工事を最終とし六件の工事を全部完了せり、而して之に要したる整理費は七百八十八圓五十四錢なり、其の工事竝支拂狀況を示せば左の如し。

工事進捗狀況

年	度	管線		其の他		計	歩合%
		數量	金額	數量	金額		
昭和二年		一三・〇 ^間	三三三・二〇 ^円	ヶ所	—	三三三・二〇 ^円	四七
昭和三年		—	—	四	二九一・〇五	二九一・〇五	三六
昭和四年		三七	二四・二元	—	—	二四・二元	一六
	計	一六・七	四九七・四九	四	二九一・〇五	六八八・五四	一〇〇

第八地區 丙 地下埋設物其他工作物整理

支拂狀況

六四〇

年 度	市 負 擔	步 合	%
	三三・一〇		
	二九・〇五		
	二四・二元		
	六八・四		
			一〇〇

第二電 氣

(イ) 市 電

工事は昭和二年六月柳原河岸三號地内に於ける電柱移設工事を最初としそれより逐次各種工事を施行し、同五年五月柳原河岸三號地内に於ける電纜防護工事を最終とし十五件の工事を全部完了せり、而して之に要したる整理費は二千八百七十四圓八十錢なり、其の工事並支拂狀況を示せば左の如し。

工事進捗狀況

年 度	電 柱	管 線 路	其 他	計	歩 合 %
昭 和 二 年	本 一	間 一	ヶ所 二	五・〇二	一
昭 和 三 年	一六・〇〇	二六・〇〇	三	三・三六	一六
昭 和 四 年	一八・六六	一	三	二、二七・九	八二

昭 和 五 年	計
一	一〇・六
一	二、二六・六
一	一〇・六
一	二、八四・八
一	一〇

昭 和 二 年	昭 和 三 年	昭 和 四 年
本 一	三	二
金 額 一 〇・〇	一 六・〇	一 八・六
間 一	二 六・〇	一
金 額 一 〇・〇	二 八・三	一
所 二	三	三
金 額 五 〇・二	三 ・三	二 ・七
五 〇・二	四 五・八	二 ・三
一	一	一

支拂状況

昭 和 五 年	計
五	一
三 七・六	一 〇・三
二 四・〇	二 ・三
二 八・三	九
二 八・四・八	二 ・三
二 八・四・八	二 ・三
一 〇	一 〇

年 度	國 負 擔	市 負 擔	計	步 合 %
昭 和 二 年	一 〇・〇	一 九・四	一 九・四	一
昭 和 三 年	一 〇・〇	一 五・八	一 五・八	一
昭 和 四 年	一 〇・〇	六 五・八	六 五・八	二
昭 和 五 年	二 ・四	一 〇・三	二 ・七	七
計	二 ・四	七 〇・八	二 ・八	一 〇

(ロ) 東 電

工事は昭和二年十一月美土代町一丁目十一番地先に於ける電柱移設工事を最初としそれより逐次各種工事を施行し、同五年二月柳原河岸三號地内に於ける電柱根寄工事を最終とし十六件の工事を全部完了せり、而して之に要したる整理費は三千百六十三圓五十二錢なり、其の工事並支拂状況を示せば左の如し。

第八地區 丙 地下埋設物其他工作物整理
工事進捗状況

年 度	電 柱		其 他		計	歩 合 %
	數 量	金 額	數 量	金 額		
昭 和 二 年	四本	七、三三 ^円	一ヶ所	—	七、三三 ^円	二四
昭 和 三 年	八	一、九三・八一	—	—	二、二九・八七	九七
昭 和 四 年	四	二、六一・二四	—	—	二、六一・二四	九
計	一六	二、四七・四四	—	—	二、四七・四四	一〇〇

支拂状況

年 度	市 負 擔		歩 合 %
	數 量	金 額	
昭 和 三 年	—	一、二七九・三六 ^円	四〇
昭 和 四 年	—	一、八四四・二四	六〇
計	—	三、一三三・六〇	一〇〇

第三 瓦 斯

工事は昭和二年七月錦町一丁目一番地先に於ける瓦斯引込管線切廻工事を最初としそれより逐次各種工事を施行し、同五年三月柳町一番地先に於ける瓦斯管移設工事を最終とし八件の工事を全部完了せり、而して之に要したる整理費は七百九十五圓九十六錢なり、其の工事並支拂状況を示せば左の如し。

工事進捗状況

年 度	管 線 路		其 他		計	歩 合 %
	數 量	金 額	數 量	金 額		
計	—	—	—	—	—	—

工事は昭和二年七月錦町一丁目一番地先に於ける瓦斯引込管線切廻工事を最初としそれより逐次各種工事を施行し、同五年三月柳町一番地先に於ける瓦斯管移設工事を最終とし八件の工事を全部完了せり、而して之に要したる整理費は七百九十五圓九十六錢なり、其の工事並支拂狀況を示せば左の如し。

工事進捗狀況

年 度	管 線		其 他		計	歩 合 %
	數 量	金 額	數 量	金 額		
昭 和 二 年	四・五 ^間	八九・五 ^円	二 ^{ヶ所}	二六・六 ^円	一六・三	一五
昭 和 三 年	五・〇	二五・三	一	一三・四七	二四・八・〇	三
昭 和 四 年	一・五	四七・六	一	一三・四七	四三・一五	四
計	天・〇	七四・一 ^圓	四	五三・六	七五・九六	一〇〇

支拂狀況

年 度	市 負 擔	歩 合 %
昭 和 四 年	一三・四七	一八
昭 和 五 年	四七・九三	六三
計	七五・九六	一〇〇

第三節 假本整理

本地區に於ける假本整理工事は件數七十四件整理費三萬五百二十八圓十三錢にして昭和二年八月八日

第八地區 丙 地下埋設物其他工作物整理

第八地區 丙 地下埋設物其他工作物整理

市電氣局關係工作物の整理に著手したるを最初としそれより逐次各種工事を施行せり、之を事業者別に
見るときは市水道局四件金額四千七百七十圓三十八錢、市電氣局十二件金額千八百二十圓六十一錢、東京
電燈株式會社五十二件金額一萬九千七百七十三圓七十九錢、東京瓦斯株式會社六件金額五千三百六十三圓
三十五錢なり、其の工種別及工事並支拂狀況を示せば左の如し。

工事種別

種別	水道		市電		東電		瓦斯		計	
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額
交通障	電柱			二ヶ所	二〇・八五	三六本	二七、三〇四・五〇		四九本	一七、五五・三五
		其他			五二・八一				二ヶ所	五・八一
其他	電柱				二七三・六	四本	一七、三〇四・五〇		四本	一七、五八・二六
		管線路	五四・三	四、〇三・七	五〇	一、六四七・七				四本
其他	電柱				五〇	五〇	五、三三・三五		一ヶ所	二、一五四・七五
		其他	一四七・五一							一ヶ所
合計	計		四、一七〇・六		一、四六九・九		五、三六三・三五		一、三八五・六	二、九四九・九七
		管線路	五四・三	四、〇三・七	二〇・八五	一、八六九・九	四六本	五、三六三・三五		四六本
合計	計		四、一七〇・六	二ヶ所	一、八〇〇・六		二九、一七三・五九		三ヶ所	二〇〇・三三
		其他		一四七・五一		五・八一				

工事進捗狀況

年	度	電柱			管線路		其他	計	歩合%
		數量	金額	數量	金額				

計	合計	
	管線路	その他
四、一七〇・八	四、〇三・八七	一、一三六・九三
二七四・〇	二七四・〇	二七四・〇
一、八二〇・六	一、五〇六・九五	三一九四・一五
一九、一七三・九	五・〇	一九、一六八・九
五、三六三・五	三三・六	五、三三〇・九
三〇、五八・三	一、三六五・六	二九、二一三・七
三〇、五八・三	一〇〇・三	三〇、四八三・六

工事進捗状況

年	度	電柱		管線路		その他		計	歩合%
		数量	金額	数量	金額	数量	金額		
昭和二年		四本	一、五四・九四	一	四・三	一	一、五七・二六	一〇〇	五
昭和三年		八	三、〇九・五九	七・七	六四・八三	一	四、三一・九二	一〇〇	一四
昭和四年		三六	一四、〇三・八四	一、〇九・八	八、三三・四八	一	二、四八・六一	一〇〇	七四
昭和五年		一	一九、一七・〇六	二〇九・一	二、一四・七五	三	二、一六・四	一〇〇	七
計		四六	三六、八〇・四二	一、一〇九・六	一、一四七・五	六	三九、〇五・三三	一〇〇	一〇

支拂状況

年	度	國負擔		市負擔		計	歩合%
		数量	金額	数量	金額		
昭和二年		一	五四・三三	一	五四・三三	一〇〇	一
昭和三年		一	二、五一・三二	一	二、四九・八二	一〇〇	八
昭和四年		一	一五、四三・九四	一	一五、四三・九四	一〇〇	五〇
昭和五年		一	一〇、四四・六〇	一	一〇、四四・六〇	一〇〇	三四
未済		一	二、一六・四	一	二、一六・四	一〇〇	七
計		五	三〇、八〇・六一	五	三〇、八〇・六一	一〇〇	一〇〇

第八地區 丙 地下埋設物其他工作物整理

第一 水道

工事は昭和三年十一月柳町一番ノ二地先に於ける水道鐵管移設工事を最初としそれより逐次各種工事を施行し、同五年四月佐柄木町十九番及新石町六番地先に於ける水道鐵管移設工事を最終とし四件の工事を全部完了せり、而して之に要したる整理費は四千七百七十圓三十八錢なり、其の工事並支拂狀況を示せば左の如し。

工事進捗狀況

年 度	管 線 路		其 の 他		計	歩 合 %
	數 量	金 額	數 量	金 額		
昭 和 三 年	1 間	—	—	—	147.5 ^円	4
昭 和 四 年	33.2	1,866.43	—	—	1,866.43	45
昭 和 五 年	209.2	2,366.44	—	—	2,366.44	55
計	243.3	4,033.87	—	—	4,033.87	100

支拂狀況

年 度	國 負 擔		市 負 擔		計	歩 合 %
	數 量	金 額	數 量	金 額		
昭 和 三 年	—	—	—	—	147.5 ^円	4
昭 和 四 年	—	—	1,866.43	—	1,866.43	45
昭 和 五 年	—	—	2,366.44	—	2,366.44	55
計	—	—	4,033.87	—	4,033.87	100

第二 電 氣

(イ) 市 電

工事は昭和二年八月淡路町一丁目一番地先に於ける電柱移設工事を最初としそれより逐次各種工事を

未計	昭和五年	昭和三年	昭和五年
147.51	147.51	147.51	147.51
4,033.87	1,866.43	1,866.43	1,866.43
4,170.88	2,156.44	2,156.44	2,156.44
100	100	100	100

第二電氣

(イ) 市電

工事は昭和二年八月淡路町一丁目一番地先に於ける電柱移設工事を最初としそれより逐次各種工事を施行し、同四年五月淡路町二丁目一番地先に於ける電柱移設工事を最終とし十二件の工事を全部完了せり、而して之に要したる整理費は千八百二十圓六十一錢なり、其の工事並支拂状況を示せば左の如し。

工事進捗状況

年 度	電 柱		管 線		其 他		計	歩 合 %
	數量	金 額	數量	金 額	數量	金 額		
昭和二年	九本	五九・七七	一	一、四六・六五	一ヶ所	四六・三三	一〇五・九	六六
昭和三年	一六	二四・二一	一	一、四六・六五	一	四六・三三	二四・二	八
昭和四年	八	四・九七	一	一、四六・六五	一	四六・三三	一、六〇・五	八六
計	三三	三〇・九五	三	一、四六・六五	三	一、三六・九九	一、八〇・六	一〇〇

支拂状況

年 度	市 負 擔		歩 合 %
	數量	金 額	
昭和二年	九本	五九・七七	一
昭和三年	一六	二四・二一	三
昭和四年	八	四・九七	八
計	三三	三〇・九五	一〇〇

第八地區 丙 地下埋設物其他工作物整理

(口) 東 電

工事は昭和二年十二月新石町八番地先に於ける電柱移設工事を最初としそれより逐次各種工事を施行し、同四年七月美土代町四丁目七番地先に於ける電柱撤去工事を最終とし五十二件の工事を全部完了せり、而して之に要したる整理費は一萬九千七百七十三圓七十九錢なり、其の工事並支拂狀況を示せば左の如し。

工事進捗狀況

年 度	電 柱		管 線		計	歩 合 %
	數 量	金 額	數 量	金 額		
昭 和 二 年	三本	一、四六五・一七	—	—	一、四六五・一七	八
昭 和 三 年	七	三、四九五・四七	—	—	三、四九五・四七	一八
昭 和 四 年	三八	一三、九九一・五〇	五〇	三三・五	一四、二二三・一五	七四
計	四八	一八、九五一・三	五〇	三三・五	一九、二四四・八	一〇〇

支拂狀況

年 度	市 負 擔	歩 合 %
昭 和 三 年	二、三四五・八七	三
昭 和 四 年	一三、二六六・五	六九

昭 和 五 年	計	歩 合 %
三、五六一・四一	一九、一七三・七九	一九
		一〇〇

合 計	現金補償 (個人拂)		移設費		補償	
	國負擔	市負擔	國負擔	市負擔	國負擔	市負擔
	計	計	計	計	計	計
國負擔	1,910	43,373	1,910	43,373	1,910	43,373
市負擔	2,977	66,148	2,977	66,148	2,977	66,148
計	4,887	109,521	4,887	109,521	4,887	109,521
國負擔	1,124	2,383	1,124	2,383	1,124	2,383
市負擔	1,344	4,002	1,344	4,002	1,344	4,002
計	2,468	6,385	2,468	6,385	2,468	6,385
國負擔	1,369	27,023	1,369	27,023	1,369	27,023
市負擔	2,565	53,070	2,565	53,070	2,565	53,070
計	3,934	80,093	3,934	80,093	3,934	80,093
國負擔	1,124	2,383	1,124	2,383	1,124	2,383
市負擔	1,644	4,002	1,644	4,002	1,644	4,002
計	2,768	6,385	2,768	6,385	2,768	6,385
國負擔	1,124	2,383	1,124	2,383	1,124	2,383
市負擔	1,644	4,002	1,644	4,002	1,644	4,002
計	2,768	6,385	2,768	6,385	2,768	6,385
國負擔	1,124	2,383	1,124	2,383	1,124	2,383
市負擔	1,644	4,002	1,644	4,002	1,644	4,002
計	2,768	6,385	2,768	6,385	2,768	6,385
國負擔	1,124	2,383	1,124	2,383	1,124	2,383
市負擔	1,644	4,002	1,644	4,002	1,644	4,002
計	2,768	6,385	2,768	6,385	2,768	6,385

備考 合計件數欄中には再設費補償件數を含みません。

第一 水道

昭和二年四月十四日より工事施行に關する申請書の受付を開始し同四年八月十六日迄に全部の受付を了せり、工事は昭和二年六月十四日之に著手し建物移轉の進捗に伴ひ逐次施行し同五年二月十日を以て全工事を完了したり、其の申請書並整理件數は四千八百八十七件金額十萬九千五百三十六圓十四錢にして内撤去工事のみを爲し再設工事を爲さざりしもの六百六十五件金額九千四百一圓五十一錢なり、其の工事並支拂狀況を示せば左の如し。

年 度	工 事 状 況		支 拂 状 況	
	件 數	金 額	件 數	金 額
昭和二年	1,559	34,493.61	1,037	23,141.26
昭和三年	3,304	74,051.55	1,666	36,294.42
計	4,863	108,545.16	2,703	59,435.68
歩合%	3	3	55.8	55.8

年 度	件 數	金 額	歩 合 %
昭和四年	4	99.9	1
昭和五年	1	1	1
未 済	1	1	1

昭和二年	二、〇二一	一七、五七〇・八一	三三	二六	一、七七〇・四六	二二	二、八九二・八一	三三七	四、六二〇・二七	五
昭和三年	四、三六	五九、一七二・三六	六七	一、一三四	一五、五四七・二四	一九〇七	二六、一四四・九七	三、〇四一	四一、六九二・二一	四七
昭和四年	五	七九四・六九	一	一、〇七五	一四、七七八・二五	一、八〇六	二四、七六〇・二六	二、八八一	三九、四九八・五一	四五

昭和五年	一	一	四	六六〇・八	七	一、〇三三・二	二六	一、六七二・元	二	
未済	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
計	六、三八五	八七、五三三・八六	一〇〇	二、三三三	三三、六七〇・三三	四、〇〇〇	四、八六六・九三	六、三八五	八七、五三三・八六	一〇〇

備考 △印は再設費未支拂撤去費は支拂済のもの。

第三 瓦 斯

昭和二年四月十四日より工事施行に關する申請書の受付を開始し同四年八月八日迄に全部の受付を了せり、工事は昭和二年六月二十日之に著手し建物移轉の進捗に伴ひ逐次施行し同四年十月二十七日を以て全工事を完了したり、其の申請書並整理件数は三千九百三十四件金額七萬九千七十六圓二十錢にして内撤去工事のみを爲し再設工事を爲さざりしもの六百十三件金額五千七百八十五圓七十八錢なり、其の工事並支拂狀況を示せば左の如し。

年 度	工 事 状 況			支 拂 状 況						
	件 數	金 額	歩 合 %	國 負 擔	市 負 擔	合 計				
昭和二年	一、二四三	一四、九八四・三〇	三三	二八	二、三七一・八〇	三三	四、四四二・一〇	三三九	六、八一三・九〇	八
昭和三年	二、六六九	五三、四四五・九〇	六七	七九	一六、〇三九・八〇	一、四九六	三〇、〇六九・六〇	二、二九四	四六、一〇九・四〇	五八
昭和四年	三三	六四六・〇〇	一	四三	八、七三三・九〇	八五	一六、五八二・五〇	一、二六四	一五、三〇六・四〇	三三
昭和五年	一	一	一	一四	三八一・四〇	一三	三七四・六〇	三七	七五六・〇〇	一

第八地區 丙 地下埋設物其他工作物整理

未 計	三、九四	七九、〇七六・二〇	一〇〇	一、三九九	二七、五五六・九〇	二、〇〇〇	五二、五五九・三〇	三、〇〇〇	七九、〇七六・二〇	一〇〇
	一	一	一	一	一	△	△	△	九〇・五〇	一
						〇	〇	〇	九〇・五〇	

備考 △印は再設費未支拂(撤去費は支拂済)のもの。

第四 電 話

加入電話にして二回移設を要し移設費を個人に補償したるもの十四件金額三百九十八圓、又私設電話にして移設費を個人に補償したるもの四件金額二百三十七圓二十五錢なり、其の工事並補償状況を示せば左の如し。

年 度	工 事 状 況			支 拂 状 況		計 額	歩 合 %
	件 數	金 額	歩 合 %	國 負 擔	市 負 擔		
昭 和 二 年	二	一六四・〇〇	二六	一	一六四・〇〇	一六四・〇〇	二六
昭 和 三 年	一六	四七一・二五	七四	二	二八九・二〇	四七一・二五	七四
計	一八	六三五・二五	一〇〇	二	四五三・二〇	六三五・二五	一〇〇

第四章 道路占用

本地區に於ける占用事務は昭和二年六月十日開始し同四年六月三十日閉止の豫定なりしが建物移轉並

第四章 道路占用

本地區に於ける占用事務は昭和二年六月十日開始し同四年六月三十日閉止の豫定なりしが建物移轉竝道路工事の關係により同年十二月二十五日之を閉止せり、而して翌年三月三十一日迄に臺帳の作成を了し市土木局に引繼を爲せり。

本地區に於ては昭和二年六月十五日東京瓦斯株式會社に對し一括許可を爲したるを最初とし、それより逐次各事業者に許可又は承認を爲したり、而して右に對する分割許可又は承認は同月二十八日東京瓦斯株式會社に許可せるを最初とし、それより逐次各事業者に許可又は承認を爲し昭和四年十二月二十五日東京電燈株式會社に許可せるを最終とし要求工事千二百七十件、非要求工事千二十三件の許可又は承認を爲したり、其の狀況を示せば左の如し。

事業業者	一括占用許可 承認年月日	分割許可		可承認		計數
		最初年月日	最終年月日	要求工事 件	非要求工事 件	
市水道局	昭和二、六、三	昭和二、八、二	昭和四、三、一〇	四〇	二七	七七
市土木局下水課	昭和二、六、九	昭和二、九、三〇	昭和四、三、二〇	一	八	九
市電氣局	昭和二、六、七	昭和二、九、三	昭和四、三、三	三	三	六
東京電燈株式會社	昭和二、六、二〇	昭和二、七、一	昭和四、三、二五	二六	空	二六
東京瓦斯株式會社	昭和二、六、二五	昭和二、六、二六	昭和四、三、二九	空	六五	六五

第八地區 丙 地下埋設物其他工作物整理

警 視 廳	遞 信 省
昭和二、六、八	昭和三、五、八
昭和二、八、三	昭和四、八、三
昭和四、一〇、三	昭和四、一〇、三
五	五
五	五

第一 要求工事

本地區に於ける要求工事は千二百七十件其の延長一萬八千九百一十一間四五四、掘鑿面坪六千四百四十八坪〇二七にして、之を事業者別に見るときは市水道局四百五十件其の延長七千七十八間一、掘鑿面坪二千二百二十坪四〇八、市電氣局三十二件其の延長千三百八十八間八四、掘鑿面坪八百四十八坪一五八、東京電燈株式會社百十六件其の延長九百五十間三五五、掘鑿面坪四百七十一坪〇三五、東京瓦斯株式會社六百七十二件其の延長九千四百九十四間一五九、掘鑿面坪三千八坪四二六なり、尙之を類別すれば大掘鑿二百五十一件其の延長一萬六千四百四十四間五四五、掘鑿面坪五千六百五十九坪三九六、小掘鑿千九百十九件其の延長二千四百六十六間九〇九、掘鑿面坪七百八十八坪六三一なり、其の事業者別許可又は承認狀況を示せば左の如し。

年 度	大 掘 鑿		小 掘 鑿		計	
	件數	延長	件數	延長	件數	延長
昭和二年	市 水 道 局	九二、四六、五〇〇 ^間	六四	一五〇、六六七 ^間	七三二、六三、一六七 ^間	七〇四、八八九 ^坪
	市 電 氣 局	五 六七、六三〇	—	—	五 六七、六三〇	五八七、二〇三
	東京電燈株式會社	三三 一八、四四五	—	—	三三 一八、四四五	九〇、〇五〇
	東京瓦斯株式會社	三六、七〇、四〇〇	一、三六、八九〇	一七	三五七、八三三	二六四、七八、三三三
	計	八五七、六六一、九三三	二、七〇、九三三	二四三	五〇八、五〇〇	三、七七八、一九〇、四三三

昭和二年	市 水 道 局	一六二、五四、一〇〇	一九	六六四、五〇〇	二、五、七七	二五三、一六、六〇〇	九九二、九九一
東京電燈株式會社	市 電 氣 局	一六 五四、七八〇	—	—	—	一六 五四、七八〇	一九九、七三五
	東京電燈株式會社	一三三、〇〇〇	—	—	—	一三三、〇〇〇	一四、七〇〇

事業者	昭和三年度		昭和四年度		昭和五年度		支拂未済		計
	件數	金額	歩合%	件數	金額	歩合%	件數	金額	
市水道局	八	二九・四 ^円	一	二九	二八・五 ^円	三	二	五八・八 ^円	二、八七・四 ^円
市電氣局	一	二四七・〇 ^三	五	二	一四〇・五〇	一	一	四八・元	四三三・七 ^二
東京電燈株式會社	三	一五・八〇	一	一	八五・三	一	一	五・六	九三・六
東京瓦斯株式會社	七	三、四六・三	四	七	三、五八・五	一	四	二四・七四	七、三六・八
計	九	三、八七・六〇	三	六	六、七二・六	一	八	九七・三	一一、四八・元

第二 非要求工事

本地區に於ける非要求工事は千二十三件其の延長一萬二千六百三十三間三五七、掘鑿面坪六千四百一坪九三二にして之を事業者別に見るときは市水道局二百八十七件其の延長千二百二十二間四六七、掘鑿面坪三百九十四坪八八八、市土木局下水課十八件其の延長二千二百八十三間六六四、掘鑿面坪二千七百八十三坪九四二、市電氣局三十八件其の延長二千二百二十二間五四四、掘鑿面坪八百十坪七〇一、東京電燈株式會社六十五件其の延長千七十八間九六五、掘鑿面坪三百二十一坪五一、東京瓦斯株式會社六百五件其の延長五千二百二十六間二四二、掘鑿面坪千七百六坪〇九四、遞信省五件其の延長六百九十九間四七五、掘鑿面坪三百八十四坪七九七、警視廳五件なり、尙之を類別すれば大掘鑿百六十二件其の延長一萬六百四十八間八四八、掘鑿面坪五千七百六十二坪七九、小掘鑿八百六十一件其の延長千九百八十四間五〇九、掘鑿面坪六百三十九坪一四二なり、其の事業者別許可又は承認狀況を示せば左の如し。

年 度	大 掘 鑿		小 掘 鑿		計
	件數	延長	掘鑿面坪	件數	
	延	長	掘鑿面坪	件數	延
	長	掘鑿面坪	件數	延	長
	掘鑿面坪	件數	延	長	掘鑿面坪

件其の延長五千二百二十六間二四二、掘鑿面坪千七百六坪〇九四、遞信省五件其の延長六百九十九間四七五、掘鑿面坪三百八十四坪七九七、警視廳五件なり、尙之を類別すれば大掘鑿百六十二件其の延長一萬六百四十八間八四八、掘鑿面坪五千七百六十二坪七九、小掘鑿八百六十一件其の延長千九百八十四間五〇九、掘鑿面坪六百三十九坪一四二なり、其の事業者別許可又は承認狀況を示せば左の如し。

年	度	大掘鑿		小掘鑿		計	
		件數	延長	掘鑿面坪	件數	延長	掘鑿面坪
昭和二年	市水道局	1	1間	1	7	7	7坪
		6	221.972	333.000	1	26.667	73.877
		1	1.930	0.579	1	221.972	333.000
		3	150.500	49.100	3	1.930	0.579
		1	1	1	1	1.930	0.579
		1	1	1	1	1.930	0.579
		1	1	1	1	1.930	0.579
		1	1	1	1	1.930	0.579
		1	1	1	1	1.930	0.579
		1	1	1	1	1.930	0.579
		1	1	1	1	1.930	0.579
		1	1	1	1	1.930	0.579
昭和三年	市水道局	2	35.800	97.700	7	58.133	167.794
		5	2,327.900	1,657.360	5	2,327.900	1,657.360
		1	2,251.450	47.766	1	2,251.450	47.766
		1	1	1	1	1	1
		1	1	1	1	1	1
		1	1	1	1	1	1
		1	1	1	1	1	1
		1	1	1	1	1	1
		1	1	1	1	1	1
		1	1	1	1	1	1
		1	1	1	1	1	1
		1	1	1	1	1	1
昭和三年	市土木局下水課	2	36.403	37.698	2	44.800	15.877
		2	36.403	37.698	2	44.800	15.877
		2	36.403	37.698	2	44.800	15.877
		2	36.403	37.698	2	44.800	15.877
		2	36.403	37.698	2	44.800	15.877
		2	36.403	37.698	2	44.800	15.877
		2	36.403	37.698	2	44.800	15.877
		2	36.403	37.698	2	44.800	15.877
		2	36.403	37.698	2	44.800	15.877
		2	36.403	37.698	2	44.800	15.877
		2	36.403	37.698	2	44.800	15.877
		昭和三年	市電氣局	2	36.403	37.698	2
2	36.403			37.698	2	44.800	15.877
2	36.403			37.698	2	44.800	15.877
2	36.403			37.698	2	44.800	15.877
2	36.403			37.698	2	44.800	15.877
2	36.403			37.698	2	44.800	15.877
2	36.403			37.698	2	44.800	15.877
2	36.403			37.698	2	44.800	15.877
2	36.403			37.698	2	44.800	15.877
2	36.403			37.698	2	44.800	15.877
2	36.403			37.698	2	44.800	15.877
昭和三年	東京電燈株式會社			1	1	1	1
		1	1	1	1	1	1
		1	1	1	1	1	1
		1	1	1	1	1	1
		1	1	1	1	1	1
		1	1	1	1	1	1
		1	1	1	1	1	1
		1	1	1	1	1	1
		1	1	1	1	1	1
		1	1	1	1	1	1
		1	1	1	1	1	1
		1	1	1	1	1	1
昭和三年	東京瓦斯株式會社	1	1	1	1	1	1
		1	1	1	1	1	1
		1	1	1	1	1	1
		1	1	1	1	1	1
		1	1	1	1	1	1
		1	1	1	1	1	1
		1	1	1	1	1	1
		1	1	1	1	1	1
		1	1	1	1	1	1
		1	1	1	1	1	1
		1	1	1	1	1	1
		1	1	1	1	1	1
昭和三年	遞信省	1	1	1	1	1	1
		1	1	1	1	1	1
		1	1	1	1	1	1
		1	1	1	1	1	1
		1	1	1	1	1	1
		1	1	1	1	1	1
		1	1	1	1	1	1
		1	1	1	1	1	1
		1	1	1	1	1	1
		1	1	1	1	1	1
		1	1	1	1	1	1
		1	1	1	1	1	1
昭和三年	警視廳	1	1	1	1	1	1
		1	1	1	1	1	1
		1	1	1	1	1	1
		1	1	1	1	1	1
		1	1	1	1	1	1
		1	1	1	1	1	1
		1	1	1	1	1	1
		1	1	1	1	1	1
		1	1	1	1	1	1
		1	1	1	1	1	1
		1	1	1	1	1	1
		1	1	1	1	1	1
昭和三年	計	2	104.000	3,400	16	363.667	1,218.77
		2	104.000	3,400	16	363.667	1,218.77
		2	104.000	3,400	16	363.667	1,218.77
		2	104.000	3,400	16	363.667	1,218.77
		2	104.000	3,400	16	363.667	1,218.77
		2	104.000	3,400	16	363.667	1,218.77
		2	104.000	3,400	16	363.667	1,218.77
		2	104.000	3,400	16	363.667	1,218.77
		2	104.000	3,400	16	363.667	1,218.77
		2	104.000	3,400	16	363.667	1,218.77
		2	104.000	3,400	16	363.667	1,218.77
		2	104.000	3,400	16	363.667	1,218.77

第八地區

丙 地下埋設物其他工作物整理

第三 道路臺帳

道路臺帳は昭和五年五月三十一日之が作成を了し市土木局に引繼を爲したり、其の臺帳記入工作物は電柱九百二十三本、管線路三萬二千五百八十九間〇九三にして之を類別すれば新設せるもの電柱四百九

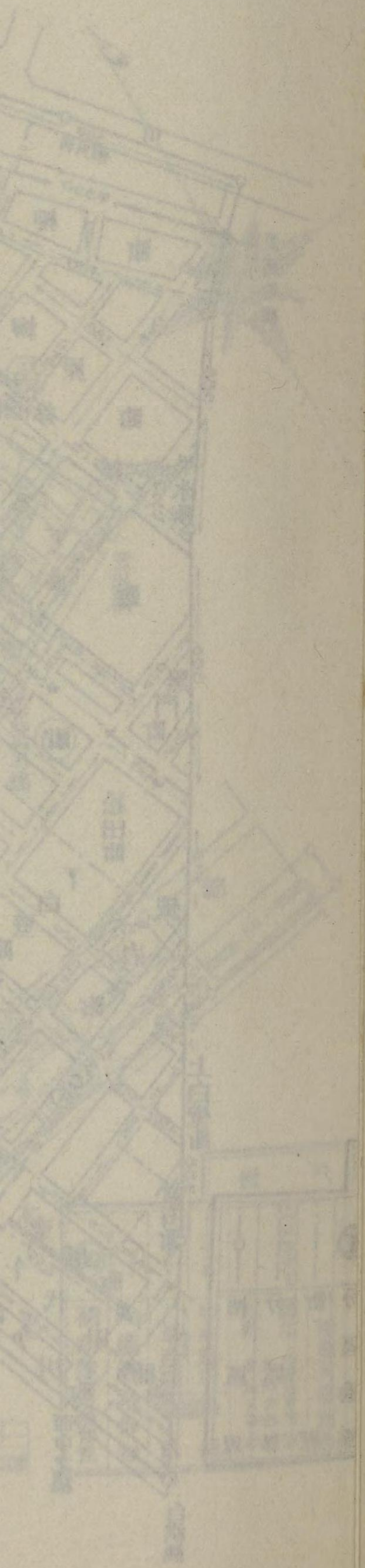
十四本、管線路一萬九千三百十二間三三五、撤去せるもの電柱四百二十九本、管線路六千六百十八間〇五八、埋殺せるもの六千六百五十八間七なり、其の事業別數量を示せば左の如し。

種別	新設	撤去	埋殺	計
水道	五、一七六・〇〇〇間	一、〇八五・四〇〇間	七六三・〇〇〇間	七、〇四四・四〇〇間
電電	二、二八三・六六四間	一、四二五・〇〇八間	一、〇〇〇	二、二八三・六六四間
電電	四四本	三七五本	一〇本	八九本
電電	五〇本	五〇本	一〇本	一〇〇本
市電	一、九五六・六六六間	一、五五〇・〇〇〇間	一、〇〇〇	三、三五四・三三四間
市電	八三四・七〇〇間	一、五五〇・〇〇〇間	一、〇〇〇	九九九・八二〇間
市電	三九四・九九五間	三〇四・五五〇間	一、〇〇〇	六九九・四五五間
市電	八、六四四・四〇〇間	三、六五七・四〇〇間	五、八九五・七〇〇間	一八、二二七・五〇〇間
市電	四九四本	四三九本	一〇本	九三三本
管線路	一九、三二二・三三五間	六、六八八・〇五八間	六、六八八・七〇〇間	三、五八九・〇九三間
計				

第八地區 丙 地下埋設物其他工作物整理

後前圖

前)



樂
此
圖

圖況義農勸導

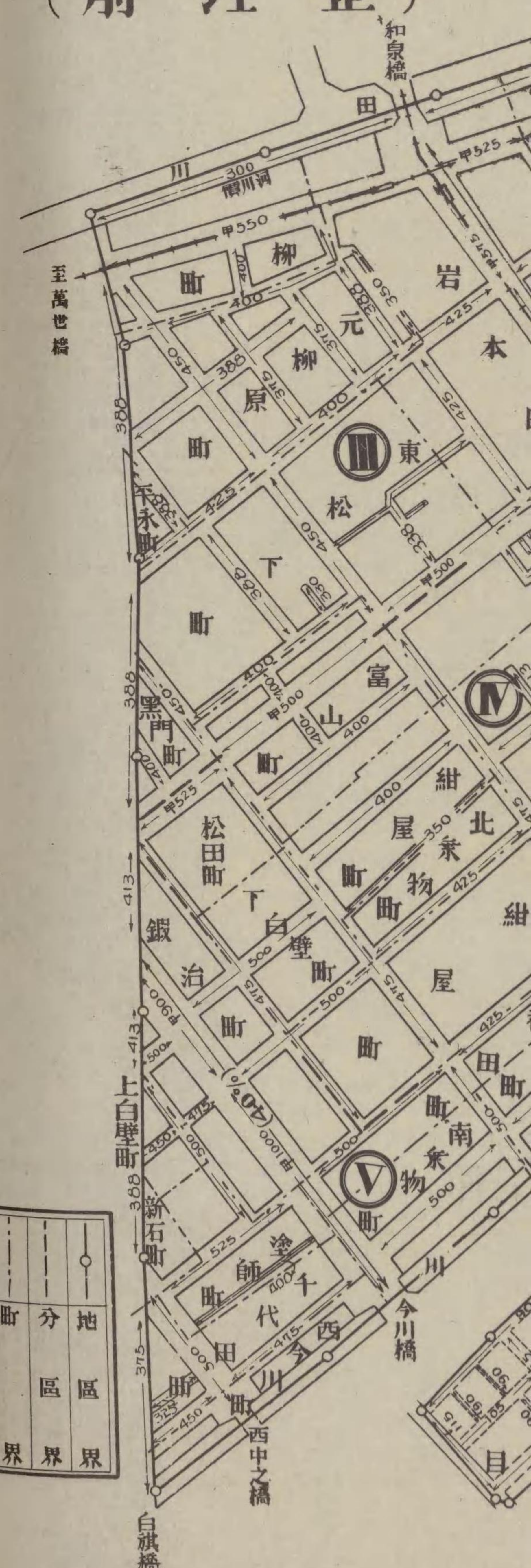
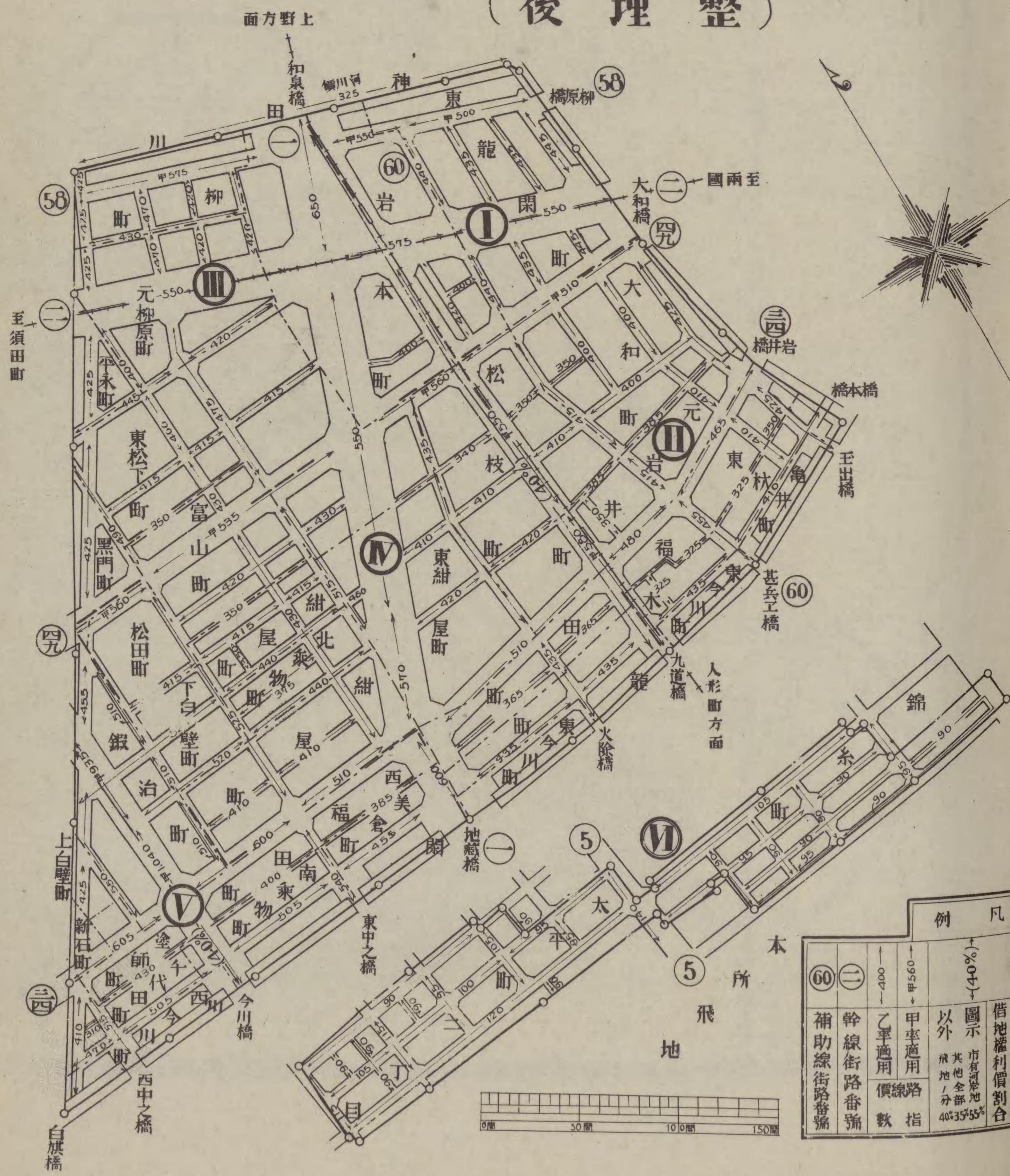
(後理(營)民前)



第九地區整理前後概況圖

(後理整)

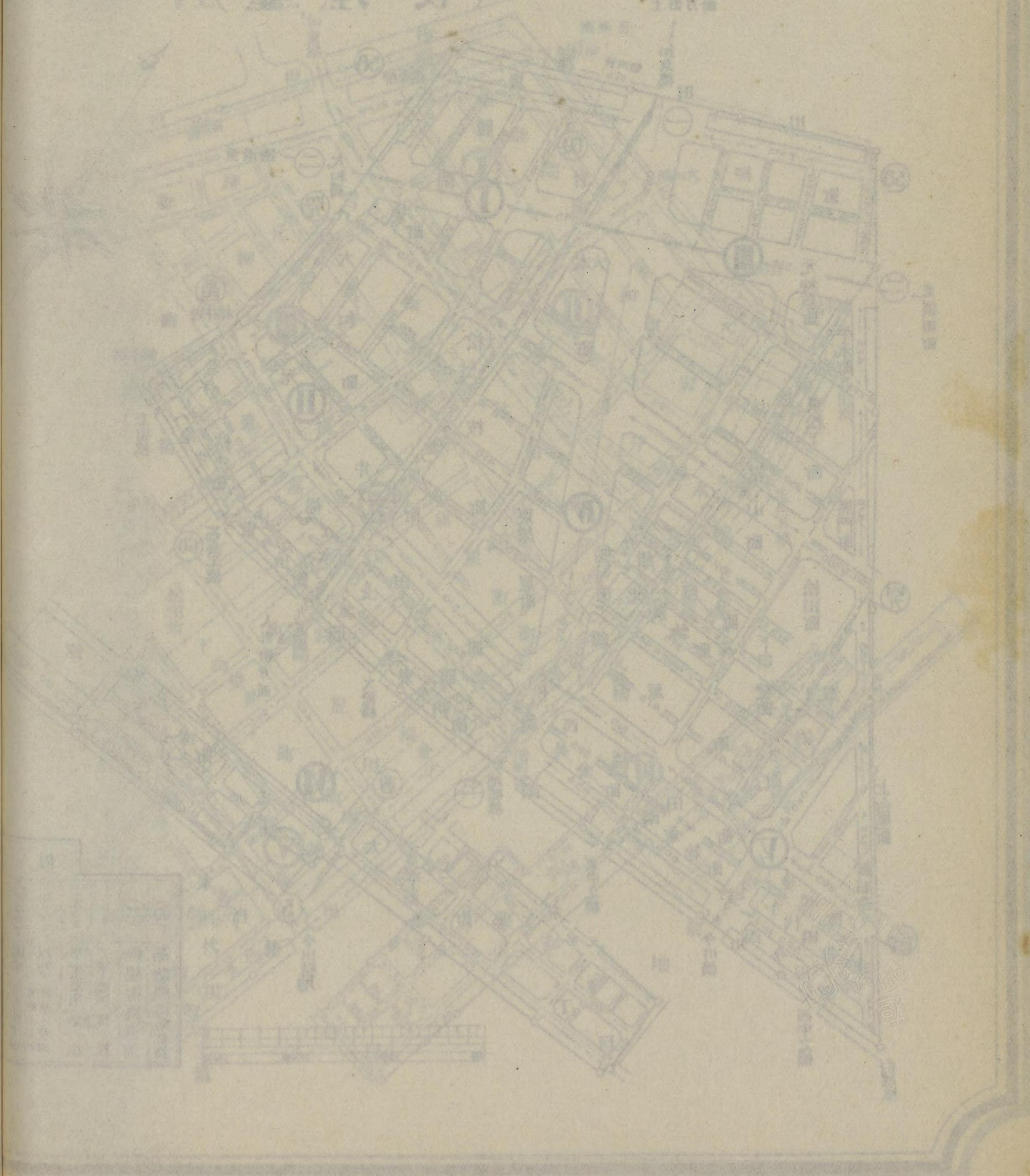
(前理整)



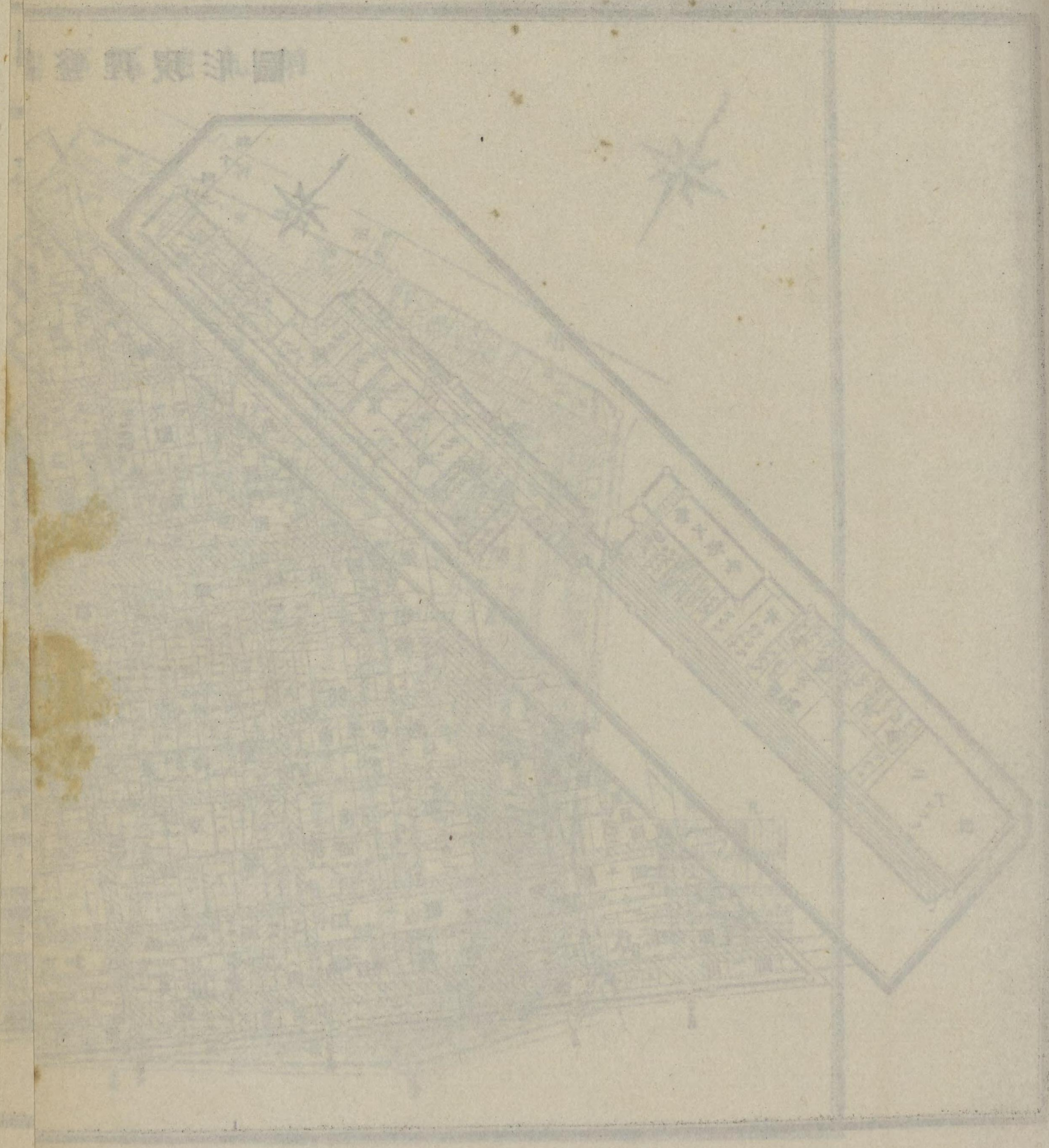
例凡	
(60)	補助線街路番號
(一)	幹線街路番號
甲 560	甲率適用
乙 400	乙率適用
丙 250	丙率適用
丁 150	丁率適用
以外	其他全額
(%)	圖示市有留地
(○)	借地權利用割合
(I)	分區番號
(II)	分區界
(III)	地區界

圖說針灸

(針灸) 圖說

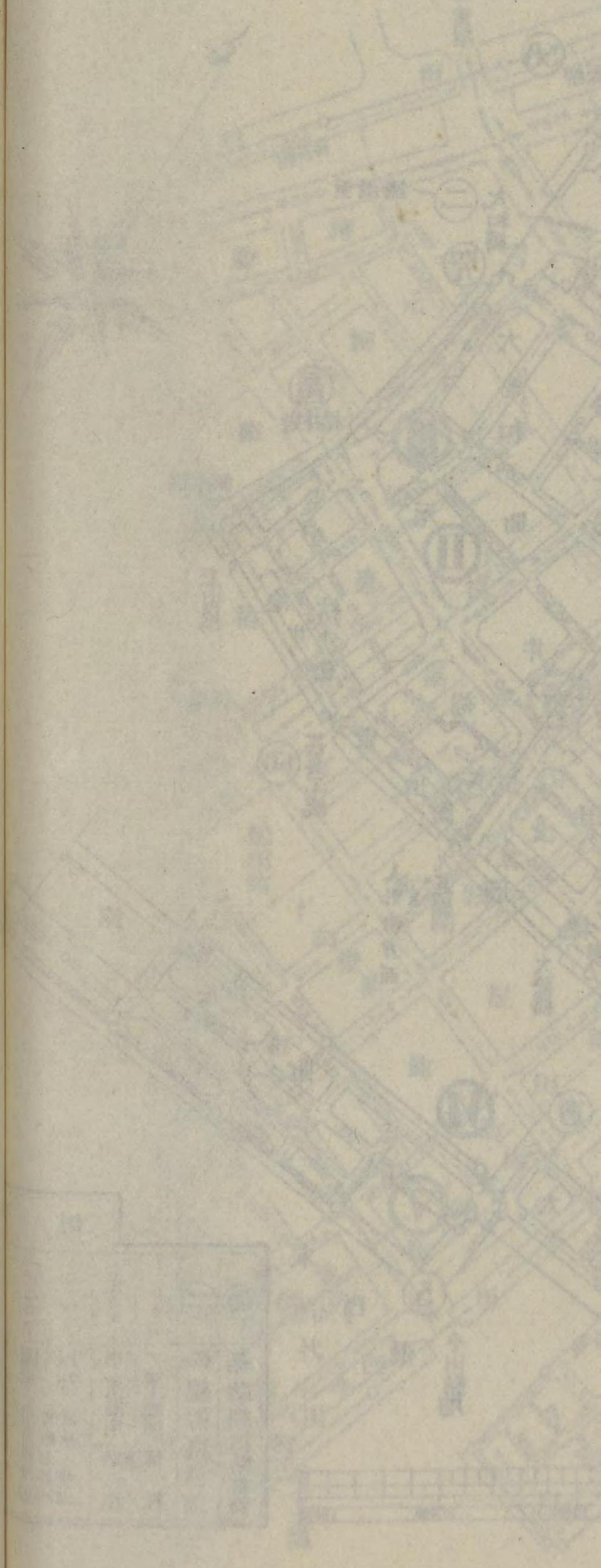


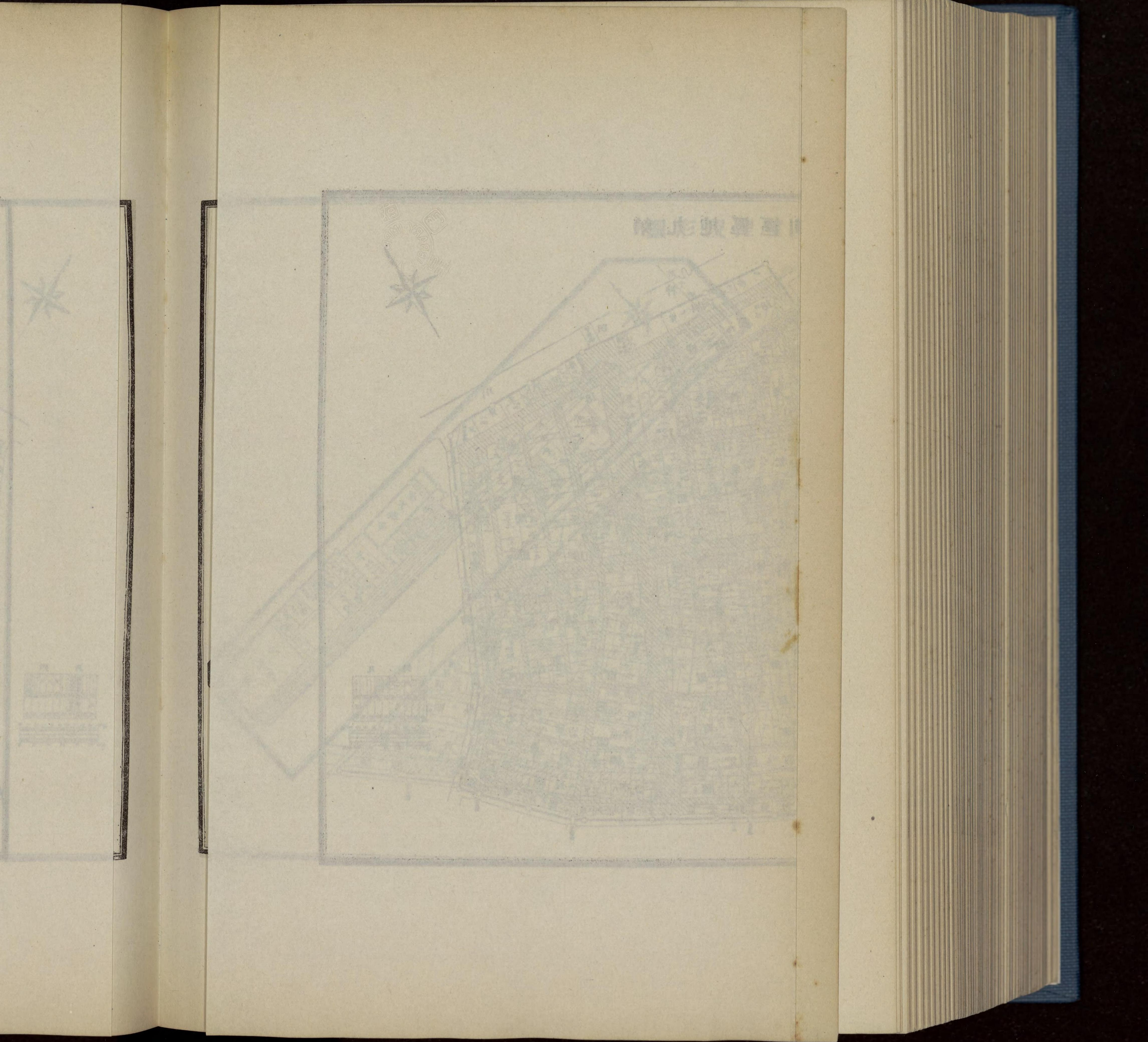
天津縣城圖



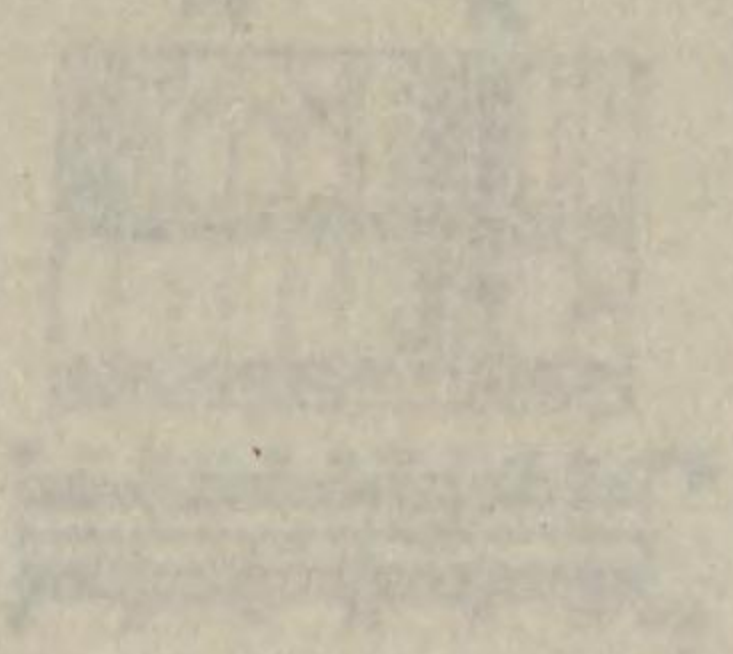
天津縣城圖

理(臺)風

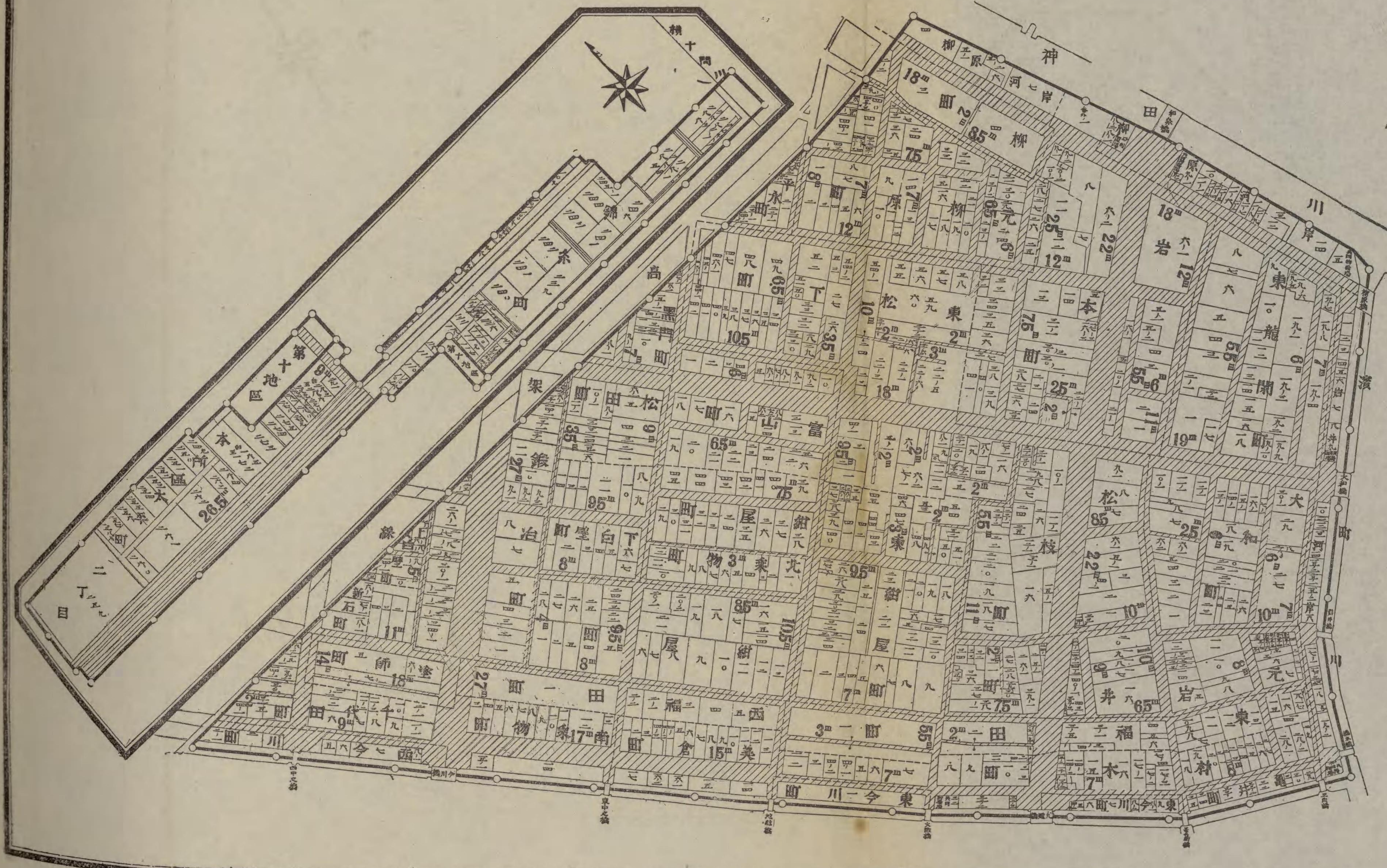




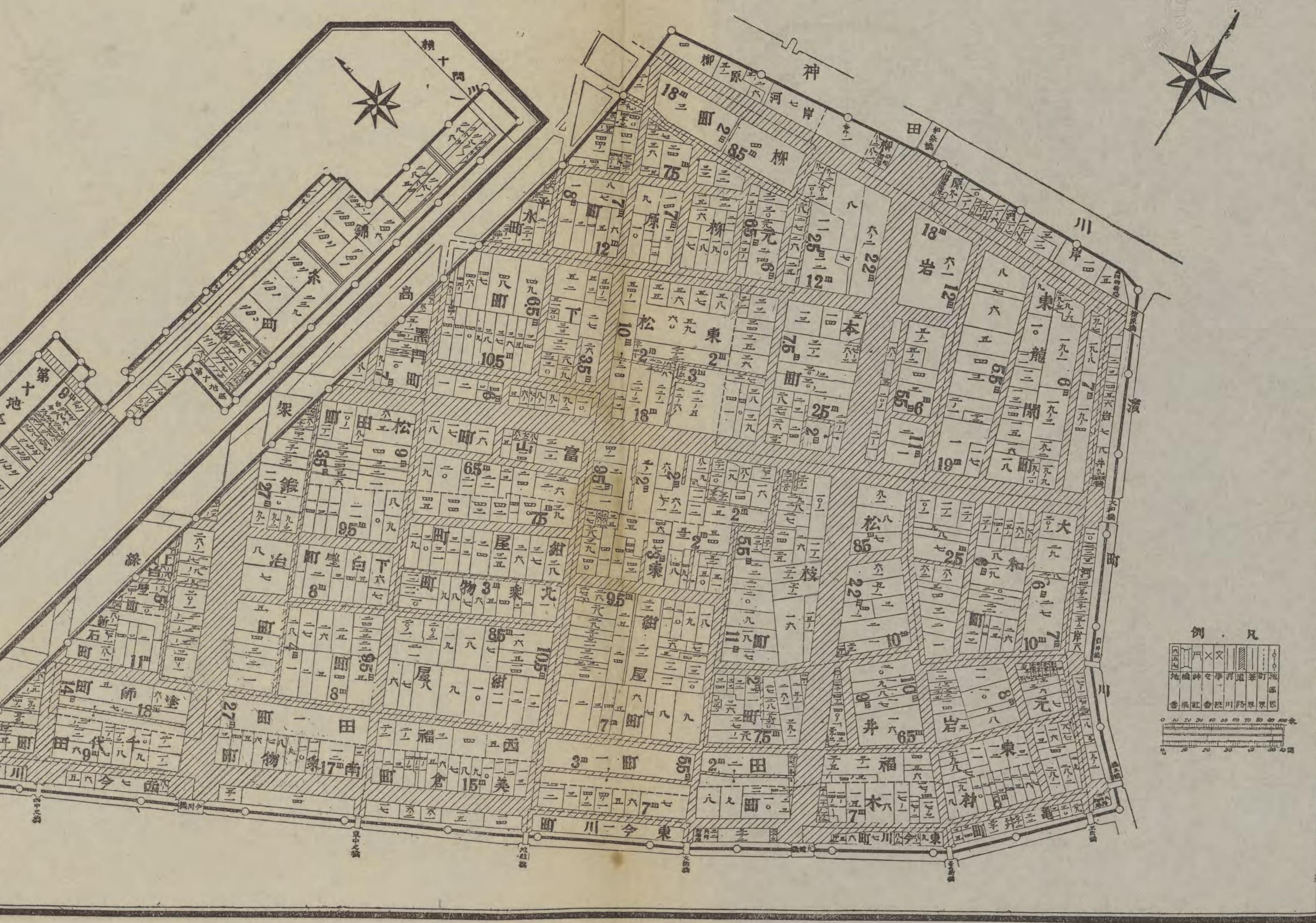
北京城圖



第九地區劃整現形圖

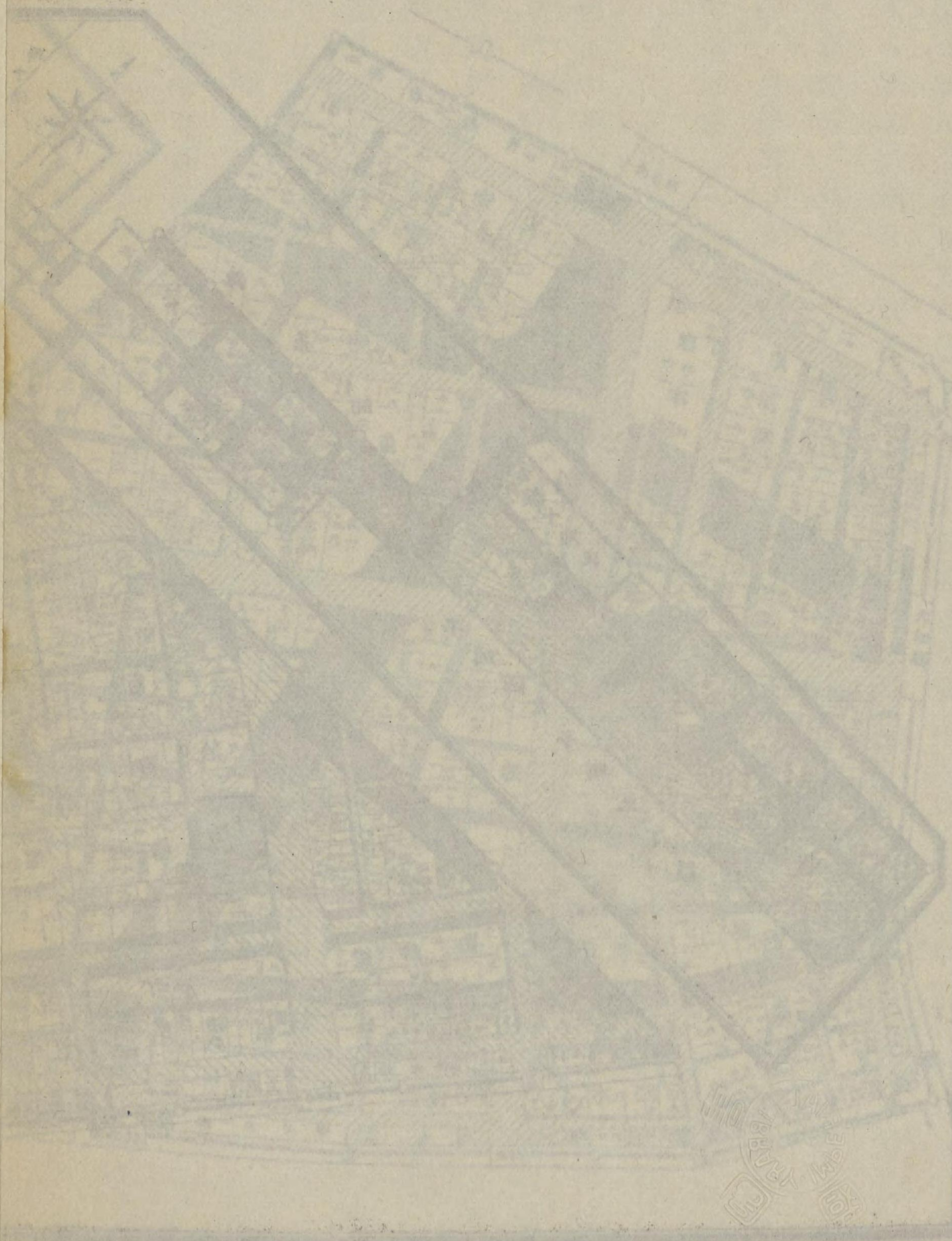


第九地區劃整現形圖



第九地區地籍圖

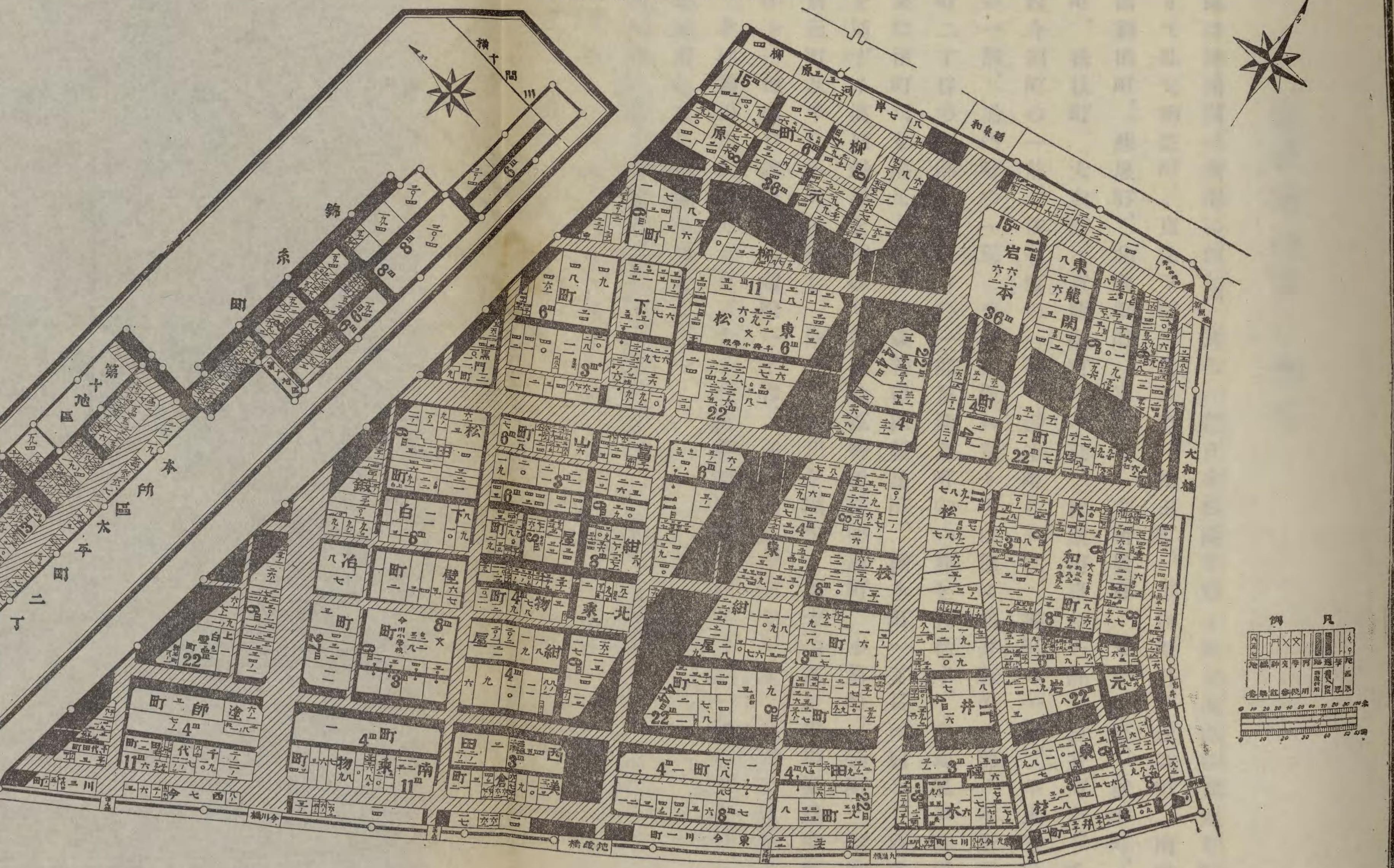
中華民國二十九年九月一日



第九地區地籍圖

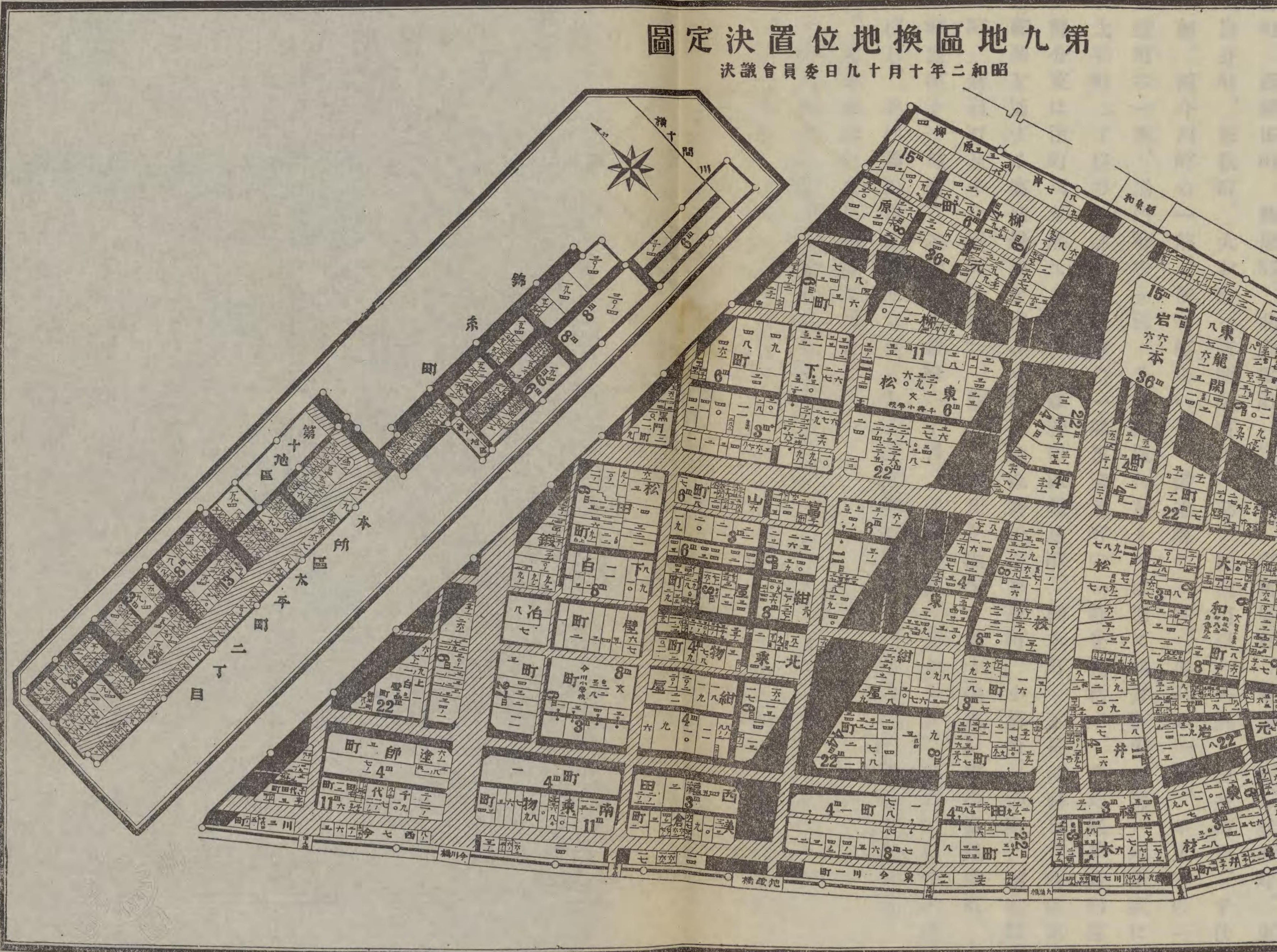
第九地區換地位置決定圖

昭和二年十月十九日委員會議決



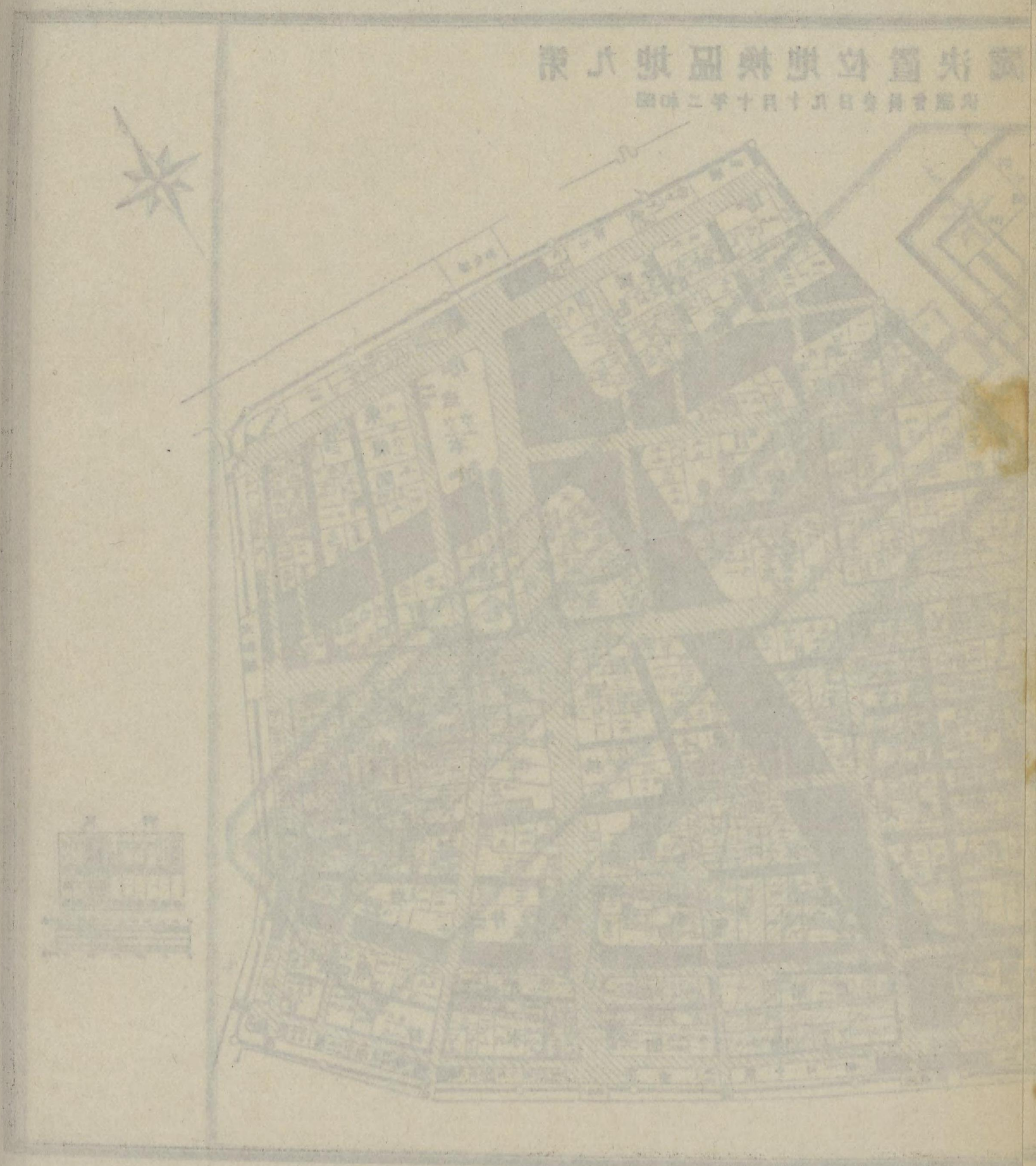
第九地區換地位置決定圖

昭和二年十月十九日委員會議決



東京市神田區整理前地區の概況

昭和二年十月十五日發行



整理前地區の概況

本地區は神田區の東部に位し、其の一部日本橋區に跨り且本所區に飛地を有す、神田區に在りては元柳原町、東松下町、岩本町、松田町、下白壁町、塗師町、南乗物町、美